

総務委員会資料

豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画
後期アクションプラン<2026~2030>
(素案)

令和8年1月21日
文化・スポーツ部
スポーツ課

— 目 次 —

I	後期アクションプラン策定の概要	3
1.	後期アクションプラン策定の趣旨	3
2.	計画期間	3
II	後期アクションプラン策定の背景	4
1.	スポーツを取り巻く環境の変化	4
2.	「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査	6
III	前期アクションプランの振り返りと今後の方向性	17
1.	前期アクションプランの評価	17
2.	前期アクションプランの総括	34
3.	後期アクションプランの策定に向けて	36
4.	政策の方向性及び体制の見直し	37
IV	後期アクションプラン	39
1.	目標数値	39
2.	体系	40
3.	取り組みと事業	41
参考資料		
	「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査結果	51
	関係事業者・団体等へのヒアリング	65
	豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会設置要綱	67
	豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画 後期アクションプラン策定の経過	69

I 後期アクションプラン策定の概要

1. 後期アクションプラン策定の趣旨

本市では、2020（令和2）年度に、「スポーツが人をつなげる 笑顔と活力に満ちた都市（まち）」を豊橋市「スポーツのまち」づくりビジョン（以下「ビジョン」）として掲げ、計画期間を2021（令和3）年度から2030（令和12）年度の10年間とした、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画（以下「推進計画」）を策定しました。

推進計画では、ビジョンの実現に向け、「1 スポーツへの参加促進」「2 スポーツ環境の充実」「3 スポーツによるまちの魅力と活力の創出」を政策の方向性として定めました。

そして、政策の方向性に紐づく6つの基本施策を前期5年間の「アクションプラン」（以下「前期アクションプラン」）として定め、取り組みを進めるとともに、2025（令和7）年度にはビジョンの進捗状況を検証し「後期アクションプラン」を策定することとしています。

そこで、昨今の社会情勢の変化などに対応するとともに、「前期アクションプラン」の取り組みの成果や今後の課題等を踏まえ、具体的な取り組みを明らかにする「後期アクションプラン」を策定するものです。

■ 「スポーツ」の定義

スポーツ基本法において、スポーツは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えています。また、文部科学省が定める「第3期スポーツ基本計画」においても、スポーツとは「「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に本質を持つもの（「Well-being」の考え方にもつながる）」として捉えています。後期アクションプランにおいても、スポーツ基本法や第3期スポーツ基本計画の趣旨と同様に、スポーツの意味を広く捉えます。

2. 計画期間

推進計画の期間については、初年度である2021（令和3）年度から2030（令和12）年度までの10年間としています。今回、推進計画の後期にあたる2026（令和8）年度から2030（令和12）年度までの5年間の「後期アクションプラン」を新たに策定します。

年度（令和）									
2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
豊橋市「スポーツのまち」づくりビジョン 「スポーツが人をつなげる 笑顔と活力に満ちた都市（まち）」									
前期アクションプラン					後期アクションプラン				

II 後期アクションプラン策定の背景

1. スポーツを取り巻く環境の変化

推進計画の前期5年間における社会情勢の変化や国・愛知県の動向を整理しました。

(1) 社会情勢

- ◇少子化・高齢化の加速
- ◇気候変動への対応
- ◇新型コロナウイルス感染症の影響
- ◇スポーツにおけるDXの活用

- ・国の総人口は、2020（令和2）年には1億2,615万人となり、総人口に占める65歳以上の老人人口割合は28.6%と、前回の国勢調査より上昇するとともに、15歳未満の年少人口割合は12.1%と低下し、少子化・高齢化が進んでいます。本市の人口においても、2030（令和12）年には348,000人まで減少する見込みであり、スポーツを支える担い手の不足や地域スポーツの存続等に影響を与えていくことが考えられます。
- ・気候変動による真夏日や猛暑日の増加に伴い、熱中症対策をはじめとしたスポーツ活動における安全確保の重要性が一層高まっています。
- ・2020（令和2）年から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントや競技大会が延期・中止を余儀なくされ、日常の運動やスポーツ活動へも大きな影響を及ぼしました。その一方で、感染拡大予防に関するガイドラインに基づきながら徐々にスポーツを再開するなど、これまでのスポーツ環境を取り戻すための取り組みが進められました。
- ・VRやAR等のデジタル技術がスポーツで活用され、仮想空間上での観戦など、「する」「みる」スポーツの分野において新たな方法で楽しむための取り組みが進んでいます。

(2) 国の動向

- ◇スタジアム・アリーナ改革
- ◇東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催（2021（令和3）年7月～8月）
- ◇「第3期スポーツ基本計画」の策定（2022（令和4）年3月）
- ◇「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の策定（2022（令和4）年12月）
- ◇「スポーツ基本法」の改正（2025（令和7）年9月1日施行）
- ◇第25回夏季デフリンピック*競技大会 東京2025の開催（2025（令和7）年11月）

*国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」

- ・国は、単なるスポーツ施設として整備するだけではなく、スポーツの価値や潜在力を最大限に引き出す、「みる」スポーツのための施設であるスタジアム・アリーナを実現しながら、それを核にまちづくり・地域活性化を目指すためのスタジアム・アリーナ改革を

進めています。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期されて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。原則無観客となるなど、さまざまな制約の中で大会が開催されたものの、世界中から集まったトップアスリートによる数々の熱戦が繰り広げられました。
- ・スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを実現するため、①「つくる／はぐくむ」②「あつまり、ともに、つながる」③「誰もがアクセスできる」の新たな視点を踏まえた、「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。
- ・学校部活動において、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを目指し、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定され、各自治体において部活動の地域展開が進められています。
- ・「スポーツ基本法」が14年ぶりに改正され、暴力や各種ハラスメントに対する措置や、eスポーツなど情報通信技術の活用によるスポーツの推進、気候変動への対応などが新たに明記されました。
- ・夏季と冬季それぞれ4年毎に開催されるデフリンピックが日本で初めて開催され、デフスポーツへの理解を広げるとともに、障害にかかわらずともにスポーツを楽しみ、互いに尊重し合う共生社会の実現につながりました。

（3）愛知県の動向

- ◇「愛知県スポーツ推進計画2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」の策定
(2023（令和5）年3月)
- ◇愛知国際アリーナの開業（2025（令和7）年7月）
- ◇第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取り組み

- ・「アジア・アジアパラ競技大会を活かし、すべての人がともにスポーツを楽しみ、スポーツの力で豊かで活力ある愛知の実現」を基本理念とした「愛知県スポーツ推進計画2023-2027～スポーツがつなぐ愛知の未来～」が策定されました。
- ・名古屋市の名城公園内に、最大収容人数1万7千人、世界・全国レベルのスポーツ大会や音楽ライブなど、多彩なイベントが開催される愛知国際アリーナが開業されました。
- ・2026（令和8）年9月～10月に開催される、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた準備が進められ、開催に向けた気運が高まっています。

2. 「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査

後期アクションプランの策定にあたり、市民ニーズの把握や今後の具体的な取り組みへ反映させることを目的として、スポーツに関する市民アンケートを行いました。

(1) 調査概要

- ・調査期間 2025（令和7）年8月21日（木）から9月12日（金）まで
- ・調査対象 市内在住の16歳以上の方
- ・送付数 2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
- ・調査方法 設問用紙を郵送し、郵送またはWebにより回答

(2) 回答結果

- ・回答者数 812人（内、紙回答 444人 Web回答 368人）
- ・有効回答者数 809人
(全問無回答は無効とする。また、「紙」での回答と「Web」での回答が重複している場合は、「Web」での回答を有効回答とする。)
- ・有効回答者率 40.5%

*各設問における無回答者については集計対象としていません。

*集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがあります。

*本文中の各設問の図中に示されている「n=○○」の数値は、当該設問の有効回答数です。

*回答比率（%）は、その設問の有効回答数を母数として算出しています。

*有効回答数は、単数回答の設問では、当該設問の有効回答者数となりますが、複数回答の設問では、選択された各選択肢の合計となります。

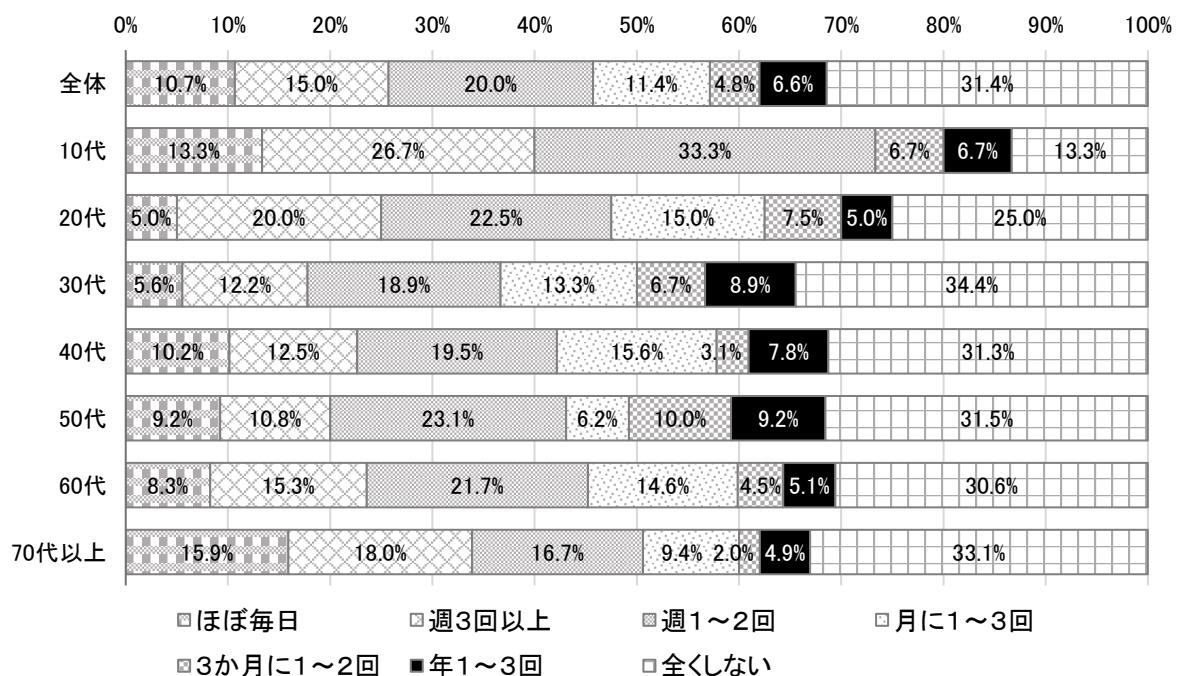
(3) アンケート結果

ここでは、アンケート調査における主な設問に対して、年代別にクロス集計を行い整理しました。なお、すべての設問に対する単純集計については、「参考資料 「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査結果 (P. 51-64)」に記載しています。

■スポーツを「する」に関する調査結果

○スポーツ実施率

- ・全体で週1回以上スポーツをする人の割合は45.7%と50%を下回っています。
- ・全体でスポーツを全く行わない人の割合が31.4%と最も高くなっています。
- ・週1回以上スポーツをする人の割合が最も高いのは10代(73.3%)、次いで70代以上(50.6%)となっています。
- ・20代から60代までの年代で週1回以上スポーツをする人の割合が50%を下回っており、特に30代は36.7%と最も低くなっています。

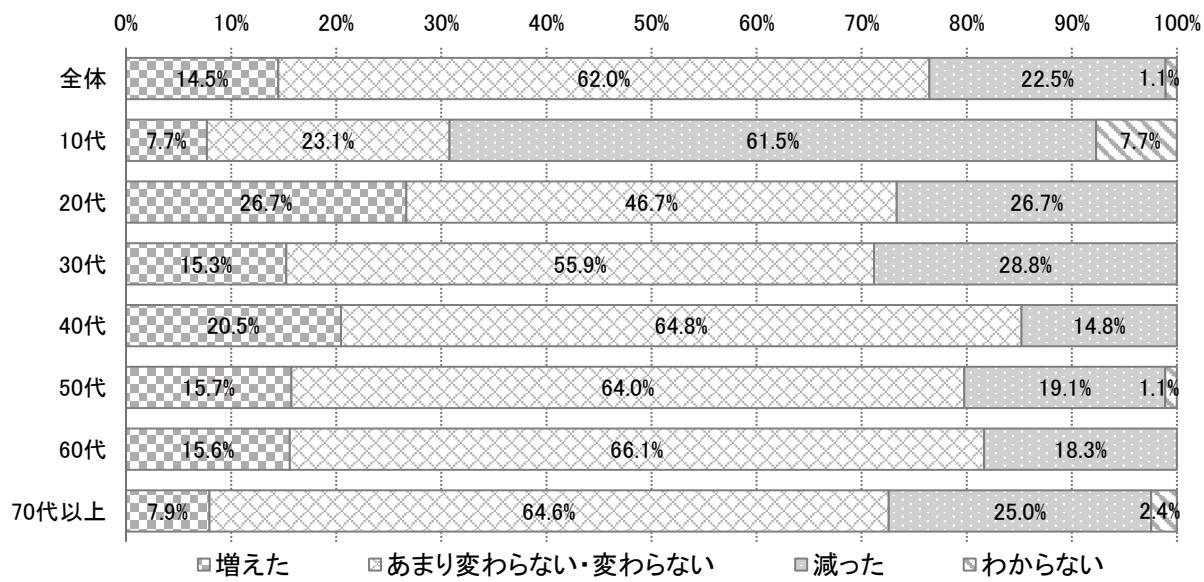


n=805

○スポーツの実施頻度

《スポーツをする頻度の増減》

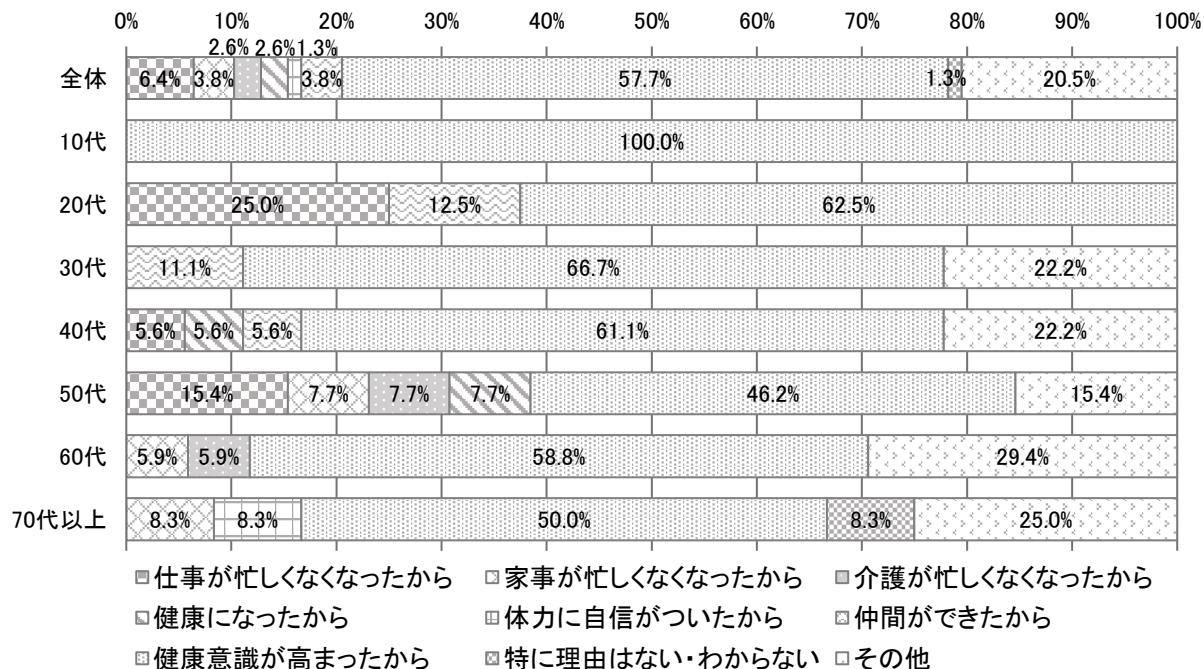
- ・全体で最も高いのは「あまり変わらない・変わらない」(62.0%)と約6割となっています。
- ・「増えた」の割合は20代で最も高く26.7%、次いで40代が20.5%となっています。
- ・「減った」の割合は10代で最も高く61.5%、次いで30代が28.8%となっています。



n=552

《スポーツをする頻度が増えた理由》

- ・全体で最も高いのは「健康意識が高まったから」(57.7%)と50%を上回っています。
- ・20代、50代ではそれぞれ、「健康意識が高まったから」に次いで「仕事が忙しくなくなったから」が高くなっています。



n=78

○スポーツをする理由

- ・全体で最も高いのは「健康・病気予防のため」(22.2%)、次いで「体力・筋力の維持増進のため」(21.4%)、「運動不足を感じるから」(17.1%)で、これらの理由をあわせると全体の約6割となっています。
- ・10代と20代ではそれぞれ、「体を動かすことが好きだから」、「友人・仲間との交流のため」がスポーツをする理由の3位までに入っています。
- ・30代以上の年代では「健康・病気予防のため」、「体力・筋力の維持増進のため」、「運動不足を感じるから」が3位までを占めています。

(年代別上位3位)

年代	主な理由		割合
全体	1位	健康・病気予防のため	22.2%
	2位	体力・筋力の維持増進のため	21.4%
	3位	運動不足を感じるから	17.1%
10代	1位	体を動かすことが好きだから	18.2%
	1位	その種目が好きだから	18.2%
	1位	友人・仲間との交流のため	18.2%
20代	1位	体力・筋力の維持増進のため	16.4%
	2位	体を動かすことが好きだから	13.1%
	2位	健康・病気予防のため	13.1%
	2位	友人・仲間との交流のため	13.1%
30代	1位	健康・病気予防のため	20.8%
	2位	体力・筋力の維持増進のため	16.8%
	3位	運動不足を感じるから	14.8%
40代	1位	体力・筋力の維持増進のため	19.3%
	2位	健康・病気予防のため	18.4%
	3位	運動不足を感じるから	16.4%
50代	1位	健康・病気予防のため	20.9%
	1位	体力・筋力の維持増進のため	20.9%
	3位	運動不足を感じるから	18.5%
60代	1位	体力・筋力の維持増進のため	25.0%
	2位	健康・病気予防のため	22.7%
	3位	運動不足を感じるから	17.0%
70代以上	1位	健康・病気予防のため	28.5%
	2位	体力・筋力の維持増進のため	23.7%
	3位	運動不足を感じるから	20.4%

n=1,318

○スポーツがしやすくなる環境とするために求めること

- ・全体で最も高いのは「駐車場の確保」(19.4%)、次いで「設備の充実(トイレ・空調など)」(17.3%) となっています。
- ・すべての年代で「設備の充実(トイレ・空調など)」が、70代以上を除く年代で「利用手続き、料金支払いの簡略化」が3位までに入っています。
- ・70代以上では、「段差解消やエレベーター設置などのバリアフリー化」が3位となっています。

(年代別上位3位)

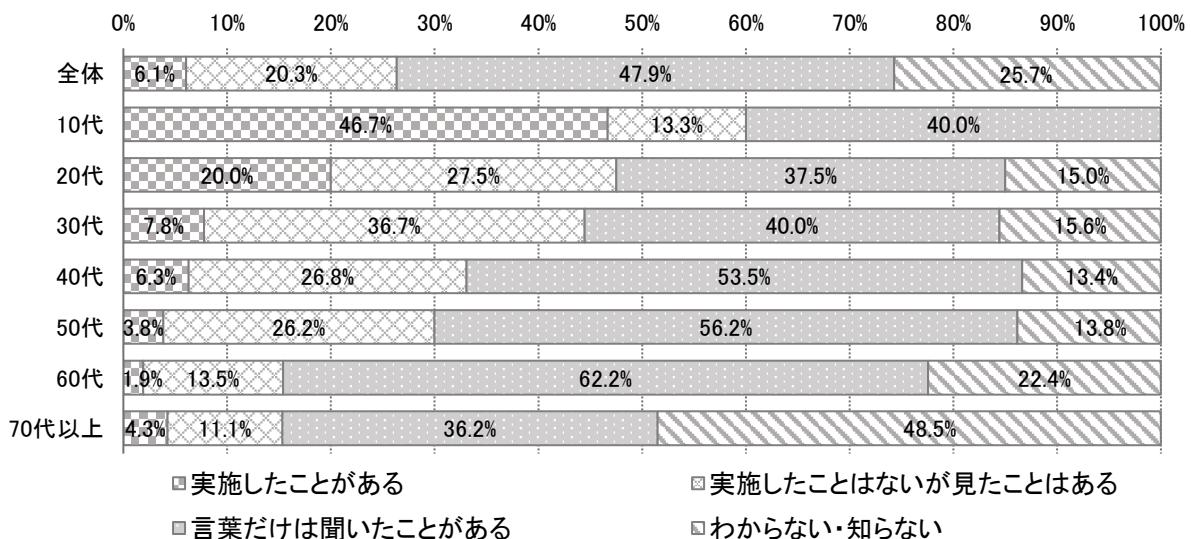
年代	主な理由		割合
全体	1位	駐車場の確保	19.4%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	17.3%
	3位	利用手続き、料金支払いの簡略化	13.3%
10代	1位	設備の充実(トイレ・空調など)	21.2%
	2位	利用手続き、料金支払いの簡略化	18.2%
	3位	既存施設の改修による競技スペースの充実	15.2%
	3位	新たな施設の新設	15.2%
20代	1位	設備の充実(トイレ・空調など)	27.3%
	2位	利用手続き、料金支払いの簡略化	12.5%
	2位	駐車場の確保	12.5%
30代	1位	駐車場の確保	19.6%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	17.2%
	2位	利用手続き、料金支払いの簡略化	17.2%
40代	1位	駐車場の確保	17.9%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	17.2%
	3位	利用手続き、料金支払いの簡略化	14.6%
50代	1位	駐車場の確保	21.8%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	15.8%
	3位	利用手続き、料金支払いの簡略化	13.9%
60代	1位	駐車場の確保	19.8%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	15.5%
	3位	利用手続き、料金支払いの簡略化	14.7%
70代以上	1位	駐車場の確保	20.2%
	2位	設備の充実(トイレ・空調など)	17.7%
	3位	段差解消やエレベーター設置などのバリアフリー化	9.8%

n=1,796

○eスポーツの傾向

《eスポーツの実施の有無について》

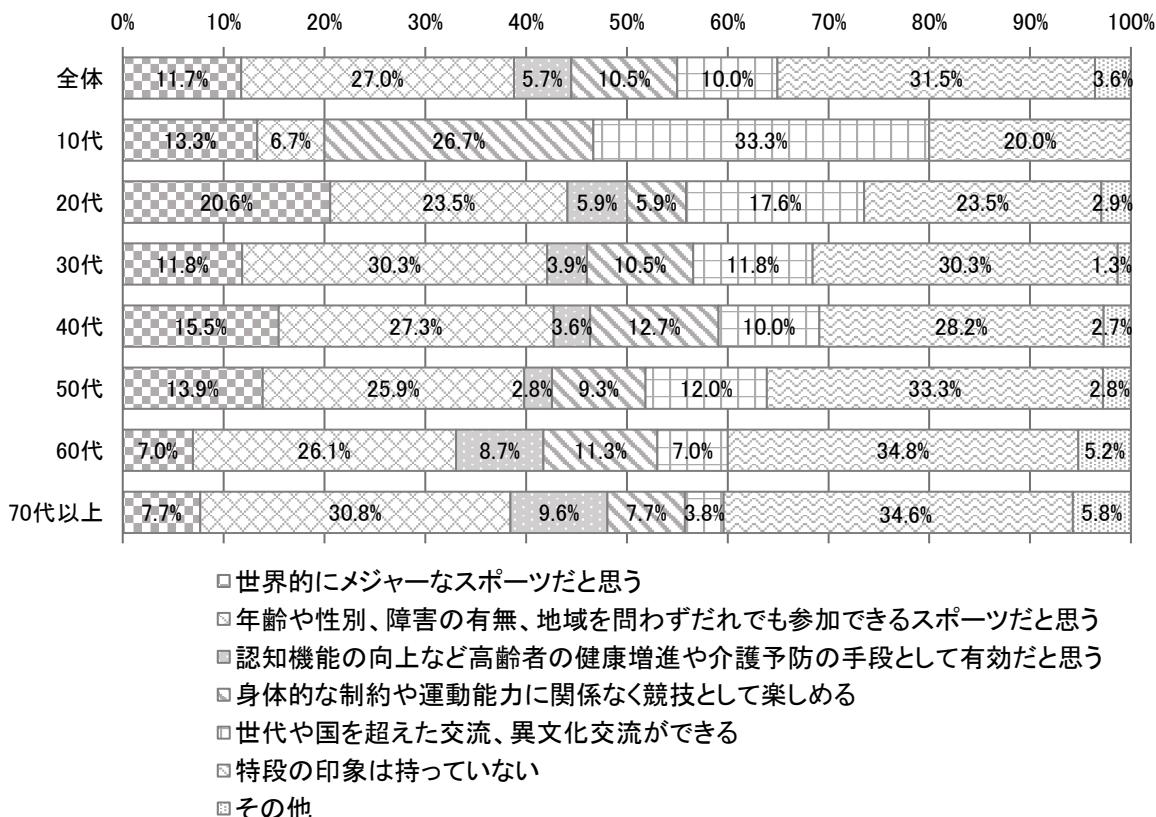
- ・全体で最も高いのは「言葉だけは聞いたことがある」(47.9%)と全体の約5割となっています。
- ・「実施したことがある」が最も高いのは10代(46.7%)となっています。なお、10代では「わからない・知らない」と回答した方はいませんでした。
- ・30代以上の年代では「実施したことがある」は10%を下回っており、特に、60代では1.9%と最も低くなっています。



n=793

《eスポーツの印象について》

- ・全体で最も高いのは「特段の印象は持っていない」(31.5%)、次いで「年齢や性別、障害の有無、地域を問わずだれでも参加できるスポーツだと思う」(27.0%)となっています。
- ・10代では他の年代に比べて、「身体的な制約や運動能力に関係なく競技として楽しめる」(26.7%)、「世代や国を超えた交流、異文化交流ができる」(33.3%)の割合が高くなっています。



n=562

■スポーツを「みる」に関する調査結果

○スポーツを会場で観戦した理由について

- ・全体で最も高いのは「家族・友人等に誘われた」(19.7%)、次いで「好きなチームや選手を応援したい」(19.2%)となっています。
- ・20代以上の年代では「好きなチームや選手を応援したい」が3位までに入っています。
- ・40代では「その他」(28.3%)が最も高くなっています。その理由として、子ども・家族が行っているスポーツを観戦するためが大半を占めています。

(年代別上位3位)

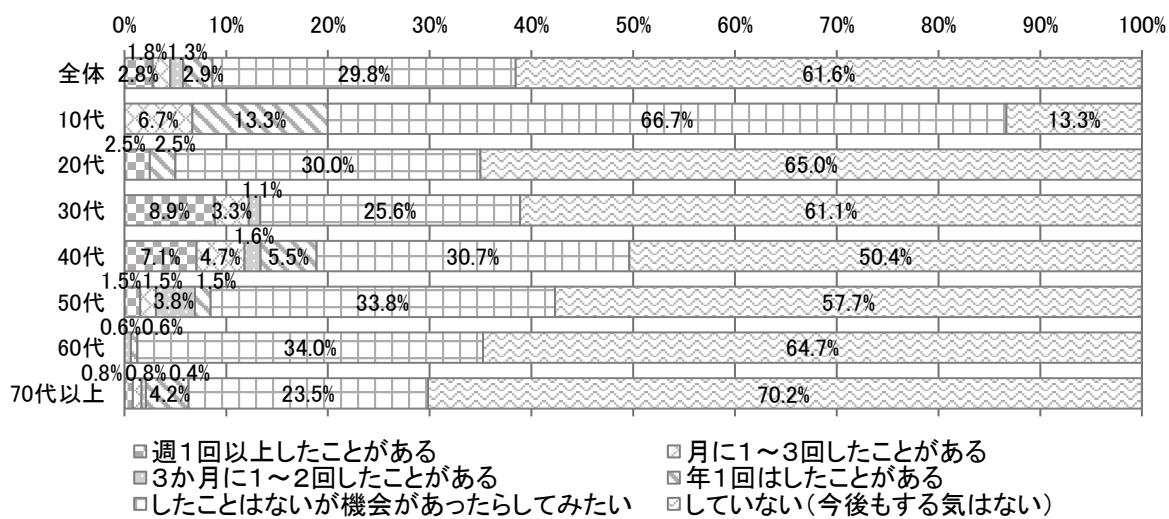
年代	主な理由		割合
全体	1位	家族・友人等に誘われた	19.7%
	2位	好きなチームや選手を応援したい	19.2%
	3位	一体感や感動・興奮を味わいたい	17.6%
10代	1位	一体感や感動・興奮を味わいたい	40.0%
	2位	家族・友人等に誘われた	20.0%
	2位	選手を間近で見てみたい	20.0%
	2位	そのスポーツをやっている・やっていたから	20.0%
20代	1位	家族・友人等に誘われた	30.8%
	2位	会場の雰囲気を楽しみたい	23.1%
	3位	好きなチームや選手を応援したい	15.4%
	3位	選手を間近で見てみたい	15.4%
30代	1位	家族・友人等に誘われた	26.9%
	2位	好きなチームや選手を応援したい	19.2%
	2位	そのスポーツが好きだから	19.2%
40代	1位	その他	28.3%
	2位	好きなチームや選手を応援したい	19.6%
	3位	そのスポーツが好きだから	13.0%
50代	1位	好きなチームや選手を応援したい	24.2%
	2位	一体感や感動・興奮を味わいたい	21.2%
	3位	家族・友人等に誘われた	15.2%
60代	1位	好きなチームや選手を応援したい	25.0%
	2位	一体感や感動・興奮を味わいたい	22.2%
	3位	家族・友人等に誘われた	19.4%
70代以上	1位	家族・友人等に誘われた	29.4%
	2位	一体感や感動・興奮を味わいたい	23.5%
	3位	好きなチームや選手を応援したい	11.8%

n=193

■スポーツを「ささえる」に関する調査結果

○スポーツをささえる活動について

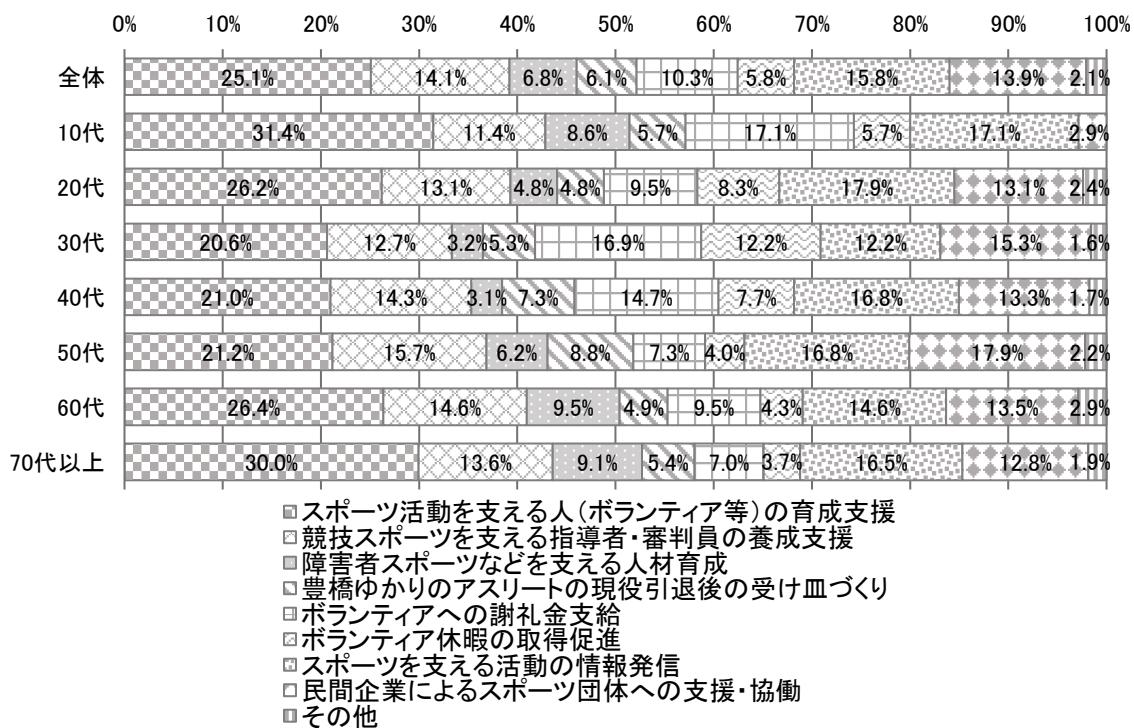
- ・全体で最も高いのは「していない（今後もする気はない）」（61.6%）となっています。
- ・「したことがある」、「したことはないが機会があつたらしてみたい」をあわせた割合が最も高い年代は10代（86.7%）となっています。



n=796

○スポーツをささえる活動に必要なことについて

- ・全体では、「スポーツ活動を支える人（ボランティア等）の育成支援」（25.1%）が最も高くなっています。なお、年代別でも、すべての年代で「スポーツ活動を支える人（ボランティア等）の育成支援」が最も高くなっています。

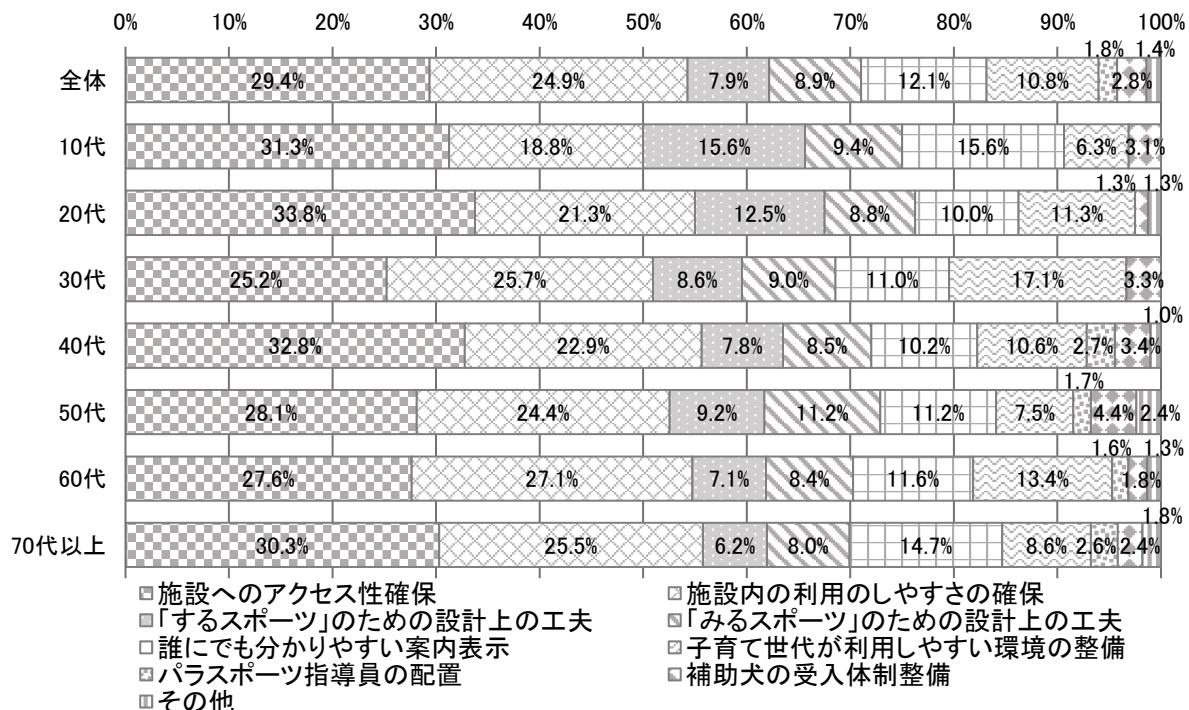


n=1,701

■スポーツ環境に関する調査について

○ユニバーサルデザインに取り組む必要があるもの

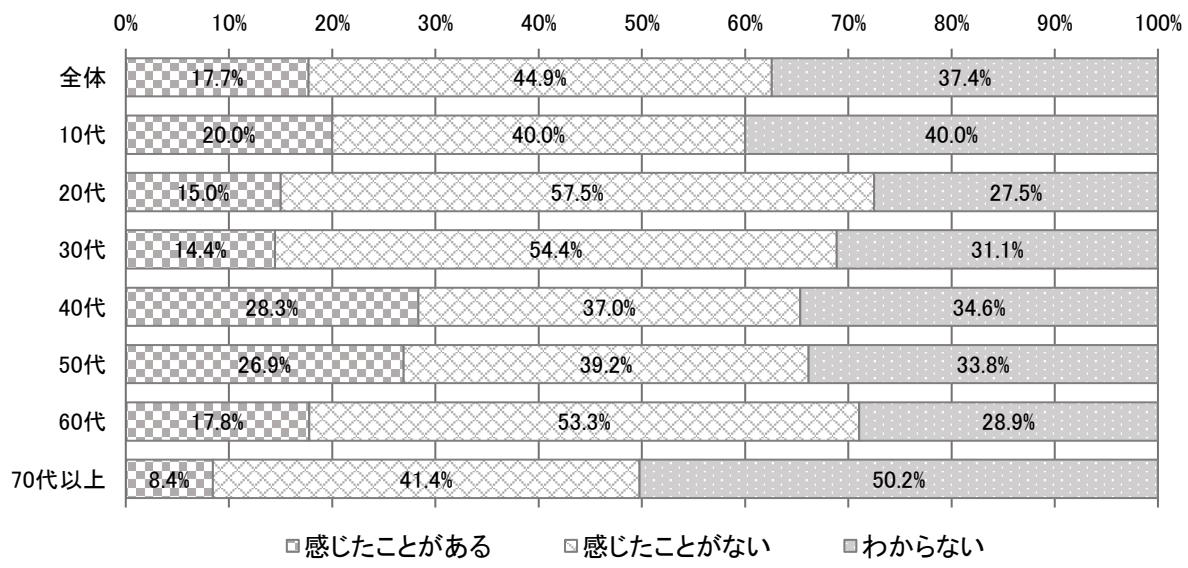
- ・全体では、「施設へのアクセス性確保」(29.4%) が最も高くなっています。なお、年代別において、30代を除いた年代で「施設へのアクセス性確保」が最も高くなっています。
- ・30代を除いた年代で「施設内の利用のしやすさの確保」が2番目に高くなっています。



n=1,792

○暴力や各種ハラスメントの有無について

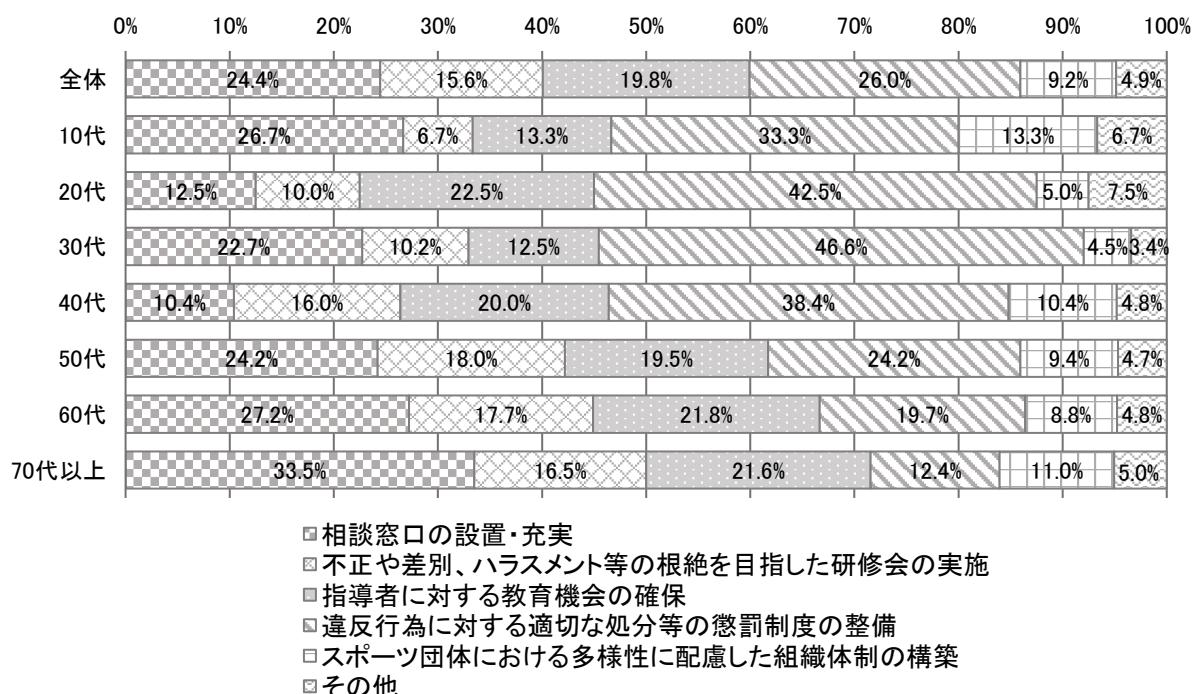
- ・全体では、「感じたことがない」(44.9%) が最も高くなっています。
- ・10代、40代、50代では「感じたことがある」の割合が20%以上となっています。



n=791

○暴力や各種ハラスメントの防止対策について

- ・全体では、「違反行為に対する適切な処分等の懲罰制度の整備」(26.0%) が最も高くなっています。
- ・10代から50代では「違反行為に対する適切な処分等の懲罰制度の整備」、70代以上では「相談窓口の設置・充実」の割合が高くなっています。



n=761

III 前期アクションプランの振り返りと今後の方向性

1. 前期アクションプランの評価

(1) 指標の推移

前期アクションプランの指標について、前期5年間の推移を以下の表にまとめました。

- ・「週1回以上スポーツを行っている市民の割合」については、2023（令和5）年度以降、順調に増加し、直近の2025（令和7）年度は50.9%と目標値の50.0%を達成しました。
- ・「スポーツ環境への満足度」については、2021（令和3）年度以降、継続して目標値の55.0%を達成しました。
- ・「市内スポーツイベント参加者数」については、新型コロナウイルス感染症の影響がある2021（令和3）年度以降、順調に増加し、2023（令和5）年度以降は2か年連続で目標値の125,000人を達成しました。

指標	基準値	参考値	実績値					目標値
	2019 年度 (R1)	2020 年度 (R2)	2021 年度 (R3)	2022 年度 (R4)	2023 年度 (R5)	2024 年度 (R6)	2025 年度 (R7)	
週1回以上スポーツを行っている市民の割合*	— %	46.0 %	45.5 %	47.7 %	46.2 %	48.5 %	50.9 %	50.0 %
スポーツ環境への満足度*	— %	48.6 %	56.6 %	58.7 %	55.4 %	56.9 %	57.0 %	55.0 %
市内スポーツイベント参加者数 (プロスポーツ観戦含む)	76,401 人	24,560 人	39,014 人	86,451 人	130,153 人	148,712 人	— 人	125,000 人

*豊橋市市民意識調査の集計値（20歳以上の割合）

(2) 取り組みごとの実績と課題、今後の方向性

前期アクションプランでは、6つの基本施策を掲げ、施策ごとに取り組みを設けました。また、その取り組みのうち、重点的に取り組む12の取り組みを定め、効果的に事業を展開しました。

前期アクションプランにおける取り組みについて、以下の基準で評価しました。

評価	/	a : 成果が上がった（予定以上）
(事業ごと)		b : おおむね成果が上がった（おおむね予定通り）
		c : あまり成果が上がらなかった（予定以下）
		d : 成果が上がらなかった（実績なし など）
総合評価	/	事業ごとの評価を数値化し、その平均値により評価しました。
(取り組みごと)		(a = 3 ポイント、b = 2 ポイント、c = 1 ポイント、d = 0 ポイント)
		A : 2.5 ポイント以上
		B : 1.5 ポイント以上、2.5 ポイント未満
		C : 0.5 ポイント以上、1.5 ポイント未満
		D : 0.5 ポイント未満

基本施策1 スポーツ参加機会の充実

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①子どものスポーツ機会の創出	○	B	5	a	親子で楽しめる運動あそび教室の開催
				a	子ども向けスポーツ体験イベントの開催
				c	子どもの基礎体力づくりのための運動教室の開催
				b	子ども向けスポーツ教室の開催
				b	スポーツ鬼ごっこの普及
②働く世代の健康・体力づくりの推進	○	B	8	b	豊橋弁ラジオ体操第2の作成・普及
				b	豊橋版ウォーキングの普及・啓発
				b	働く女性のためのオンライン運動プログラムの実施
				b	働く世代向けスポーツ教室の開催
				b	とよはし健康マイページの実施
				b	健康経営/とよはし健康宣言事業所の認定・支援
				b	地域で取り組む健康づくりの支援
				c	特定保健指導 運動教室の開催
③高齢者の生きがいづくりの推進		B	3	b	ウォーキング・体力測定事業の実施
				b	シニアスポーツ講座の開催
				b	シニアスポーツ大会の開催

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
④障害者のスポーツ参加機会の充実	○	B	4	c	ゆるスポーツ体験会の開催
				b	障害者スポーツイベントの開催
				b	スポーツレクリエーション用具・障害者スポーツ用具の貸し出し
				a	さくらピアスポーツ文化教室の開催
⑤市民参加型イベントの充実		B	7	a	スポーツの日記念事業の開催
				b	穂の国・豊橋ハーフマラソンの開催
				d	F U N N I G H T R U N の開催
				b	豊橋みなとシティマラソンの開催
				b	市民体験事業(ベースボール遊び・テニスの日など)の実施
				c	朝のラジオ体操と歩行運動の開催
				c	電車やバスで行くウォーキングイベントの開催
⑥地域スポーツの推進		B	4	b	スポーツフェスタの開催
				b	マイタウンスポーツクラブ交流フェスタの開催
				b	市民スポーツ祭の開催
				b	地区体育館スポーツフェスティバルの開催
⑦ハイレベルなスポーツの誘致活動	○	A	3	b	2026年アジア競技大会の開催支援
				a	プロスポーツ競技・実業団大会等の誘致
				a	トップアスリート誘致事業の実施
⑧スポーツボランティアの参加促進	○	B	5	c	スポーツボランティア求人情報の提供
				b	スポーツボランティア講習会の開催
				b	スポーツボランティア登録制度の検討
				b	スポーツボランティアの活動事例紹介
				b	大学・企業協力ボランティアの参加促進
⑨情報通信技術を活用したスポーツ機会の創出		B	2	b	地域スポーツ大会動画配信の検討
				b	オンラインによるイベント・教室の開催
⑩民間施設の活用の推進		C	2	c	利用可能な民間スポーツ施設の情報発信
				c	民間企業等スポーツ施設の活用の検討
⑪スポーツ情報の発信		C	4	d	市内スポーツ団体・事業所マップの作成
				c	スポーツボランティア求人情報の提供
				b	スマートフォンアプリやSNSを活用した多様なスポーツ情報の発信
				b	豊橋ゆかりのアスリートの情報発信

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①子どものスポーツ機会の創出

【事業実績】

- ・子どもから大人まで誰でも楽しく、さまざまなスポーツを体験できる「とよはしスポーツ博」を開催しました。
- ・こども未来館ここにこにおいて、「体を使ってあそぼう」、「親子で楽しく体育遊び」など楽しめる運動あそび講座を開催しました。
- ・小中学生を対象とした各種スポーツ教室やスポーツ鬼ごっこ等の出前講座を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・屋外での活動が難しくなる夏場の取り組みについて検討が必要です。
- ・体験できるスポーツの種類を増加させることや運動を楽しいと思ってもらえるような工夫、継続的な取り組みが必要です。

②働く世代の健康・体力づくりの推進

【事業実績】

- ・気軽に取り組めるラジオ体操を豊橋弁で語った「豊橋弁版ラジオ体操第2」のCD・DVDを作成し、事業者や団体へ配布したほか、YouTubeでの配信を行いました。
- ・働く世代に対して、スポーツに触れる機会を提供するため、夜間のスポーツ教室や星空を見ながらのヨガ教室を開催したほか、女性向けにストレッチやマッサージを組み合わせた講座などを開催しました。
- ・健康づくりに取り組むことでポイントが貯まり、特典が得られる「とよはし健康マイページ」の活用や市内事業所へウォーキング支援メニューを提供するなど、個人のみならず、地域グループや事業所単位などで健康や体力づくりに継続して取り組む環境を提供しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・ライフスタイルに応じてスポーツに取り組める環境を提供する必要があります。
- ・地域グループでの活動などにおいて、指導者や人材の確保が必要です。

③高齢者の生きがいづくりの推進

【事業実績】

- ・老人クラブによるウォーキングや体力測定事業などの活動を支援するとともに、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ等のシニアスポーツの講座を開催しました。
- ・ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンクの3競技によるシルバースポーツ大会を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・開催の規模が縮小されている事業もあり、ニーズに応じた開催内容の工夫や効果的な情報発信を行うことが必要です。

④障害者のスポーツ参加機会の充実

【事業実績】

- ・障害者福祉社会館さくらピアにおいて、ボッチャや音を頼りにプレーするサウンドテープルテニス（卓球）などの障害者スポーツの教室を開催しました。
- ・車いすテニスのパラリンピアンである眞田卓選手及び豊橋ゆかりのアスリートである佐々木千依選手による車いすテニス体験会、ボッチャのパラリンピアンである江崎駿選手によるボッチャ体験会を開催しました。
- ・「とよはしスポーツ博」において、車いすバスケットボールのパラリンピアンである根本慎志氏及び三宅克己氏、藤澤潔氏による体験会のほか、アンプティサッカーの体験会を開催しました。
- ・アクアリーナ豊橋において、車いすでスケートリンク上を滑る氷上体験会を開催しました。
- ・高校生を対象として、「誰もができる「ゆるい」スポーツを考えよう！」をテーマにワークショップ形式で授業を行いました。

【課題及び今後の方向性】

- ・障害者が気軽にスポーツに参加する機会を提供するとともに、共生社会の実現に向け、継続的な理解促進のための取り組みが必要です。

⑤市民参加型イベントの充実

【事業実績】

- ・「とよはしスポーツ博」の開催のほか、スポーツの日に合わせ、豊橋ゆかりのアスリートによるトークショーやレッスン、スポーツ体験などを行う「とよはしスポーツフェス」を開催しました。
- ・「鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソン」や「豊橋みなとシティマラソン」などのマラソン大会を開催しました。
- ・子どもから大人まで幅広い年齢層がスポーツを通じて、つながること、集うことができるテニス体験やベースボール遊びなどを実施しました。
- ・「FUN NIGHT RUN」は開催場所の確保などが課題となり開催には至りませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・参加者の増加に向けた新たな取り組みや工夫が必要です。
- ・物価高騰や人件費の増加等への対応を踏まえた内容の見直しが必要です。

⑥地域スポーツの推進

【事業実績】

- ・陸上競技やバレーボール、ソフトボール等の種目を校区対抗で行う「スポーツフェス^{とよはし}」を開催しました。
- ・（公財）豊橋市スポーツ協会による「市民スポーツ祭」や各地区体育館を会場とした「地区体育館スポーツフェスティバル」を開催しました。
- ・総合型地域スポーツクラブの交流等を目的とした「マイタウンスポーツクラブ交流フェ

スタ」を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・イベントを継続していくうえで、会場や人員の確保が必要です。
- ・熱中症などから参加者の安全を確保するため、開催時期や時間帯、内容を見直す必要があります。

⑦ハイレベルなスポーツの誘致活動

【事業実績】

- ・三遠ネオフェニックスのホームゲームをはじめ、プロ野球公式戦や JD リーグ（女子ソフトボール）、なでしこリーグ（女子サッカー）、W リーグ（女子バスケットボール）、T リーグ（卓球）、大相撲などのハイレベルなスポーツを誘致しました。
- ・陸上競技において、オリンピアンの金丸祐三氏や桐生祥秀選手、吉津拓歩選手、小川大輝選手、村上幸史氏などによる講習会を開催しました。
- ・バドミントンのオリンピアンである小椋久美子氏及びロンドンオリンピック柔道金メダリストの松本薰氏、J1 リーグガンバ大阪所属の三浦弦太選手による講習会を開催しました。
- ・2026（令和 8）年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に向け、総合体育館及び豊橋市民球場を改修し、施設の機能向上を図ったほか、（公財）愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と連携し、大会時のおもてなしや大会の盛り上げにつながるイベントを検討しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・ハイレベルなスポーツの継続的な誘致や新たな競技の誘致につながるよう、施設を適正に維持管理し、積極的に PR する必要があります。

⑧スポーツボランティアの参加促進

【事業実績】

- ・「鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソン」や「豊橋みなとシティマラソン」、「渥美半島駅伝競走大会」において、スポーツボランティアを募集し、事業者や大学生、高校生など多くの協力をいただき、安全で安心な大会を開催しました。
- ・スポーツボランティアの活動内容をホームページ等で広く周知するとともに、ボランティア育成のための講習会を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・継続的にスポーツを支える人材を確保する必要があります。
- ・事前の講習などを十分に行い、安心してボランティアに従事してもらえる取り組みが必要です。

⑨情報通信技術を活用したスポーツ機会の創出

【事業実績】

- ・「鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソン」及び「渥美半島駅伝競走大会」の様子を

インターネットで配信し、誰でも気軽に「みる」スポーツに参加できる取り組みを推進しました。

- ・豊橋ゆかりのアスリートで、バスケットボールのオリンピアンである高田真希選手によるオンラインスクールを開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・デジタル技術の発展を注視し、新たな方法でスポーツを楽しむ機会を創出することが必要です。

⑩民間施設の活用の推進

【事業実績】

- ・大学や民間企業が所有するスポーツ施設について、公共的な活用の可能性を検討するため、施設の利用状況等について調査をした結果、民間施設においても利用の過密化や一般貸出の際の利用制限があるなど、具体的な活用には至りませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・利用者のニーズの変化を踏まえ、民間施設の動向等を把握する必要があります。

⑪スポーツ情報の発信

【事業実績】

- ・本市ホームページや SNS 等を活用し、各種イベントや三遠ネオフェニックス、ゆかりのアスリート等の情報を発信しました。
- ・情報誌「とよはしスポーツ協会」及び広報誌「とよはしスポ協 NEWS」の発行のほか、やしの実FM「月刊！スポ協ナビ」で情報を発信しました。
- ・市内スポーツ団体・事業所マップは、インターネットなどにより情報の取得が容易になったことや団体情報の扱い方が課題となり、作成には至りませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・イベント等の情報が、多くの方へ届くように、ターゲットに応じて効果的な発信を行う必要があります。

基本施策2 スポーツ競技力の向上

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①スポーツ指導者の育成	○	B	4	c	子どもの成長に合わせた指導方法を学ぶ講習会の開催
				b	スポーツ指導者の資格取得への支援
				b	スポーツ少年団指導者講習会の開催
				b	シニアスポーツ指導者講習会の開催
②競技者・競技団体の育成		B	9	b	スポーツ指導者の派遣
				b	豊橋ゆかりのアスリートとの交流事業の実施
				b	愛知県市町村対抗駅伝競走大会参加への支援
				b	渥美半島駅伝競走大会の開催
				b	スポーツ教室の開催
				b	スポーツ少年団活動への活動助成
				b	加盟団体実施大会への助成
				b	総合型地域スポーツクラブへの活動助成
				a	トップアスリート誘致事業の実施
③選手・指導者への顕彰		B	4	b	全国大会等で活躍した選手・指導者の紹介
				b	体育表彰の実施
				b	インターハイ・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会出場選手激励会の開催
				b	全国大会等出場者への激励

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①スポーツ指導者の育成

【事業実績】

- ・ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンクなどの競技指導や審判の育成講習会を開催したほか、スポーツ少年団の指導者講習会の開催やスタートコーチ資格登録料の補助を行いました。

【課題及び今後の方向性】

- ・指導者講習会の参加人数が減少傾向であるため、効果的な情報発信や研修内容の見直しなどが必要です。

②競技者・競技団体の育成

【事業実績】

- ・豊橋ゆかりのアスリートで、バスケットボールのオリンピアンである高田真希選手及び卓球のパラリンピアンである八木克勝選手による講習会を開催しました。
- ・陸上競技において、オリンピアンの金丸祐三氏や桐生祥秀選手、吉津拓歩選手、小川大輝選手、村上幸史氏などによる講習会を開催しました。
- ・バドミントンのオリンピアンである小椋久美子氏及びロンドンオリンピック柔道金メダ

リストの松本薰氏、J1リーグガンバ大阪所属の三浦弦太選手による講習会を開催しました。

- ・スポーツ初心者を対象としたスポーツ教室の開催に加え、総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団の活動に対し、継続的な運営を目的とした助成金を支給しました。
- ・愛知県内の各市町村の交流やスポーツ振興を目的とした「愛知県市町村対抗駅伝競走大会」の参加に係る支援を行いました。

【課題及び今後の方向性】

- ・総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団において、競技者や運営の人材の確保が必要です。
- ・部活動の見直しによる中学生のスポーツ経験を確保するための取り組みが必要です。

③選手・指導者への顕彰

【事業実績】

- ・国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）などに出場する選手に対して激励会を開催するとともに、全国大会等へ出場する選手、団体へ、大会での活躍を願い、さらなる飛躍を促すことを目的とした激励金を支給しました。
- ・さまざまな分野でスポーツ振興や発展に貢献された方に対して、市制施行日記念式典や公益財団法人豊橋市スポーツ協会表彰式にて表彰しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・選手のさらなる活躍や指導者のこれまでの功績を称えるため、今後も継続的に実施する必要があります。

基本施策3 スポーツに関する人づくりの推進

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①地域スポーツを支える人材づくり		C	5	d	総合型地域スポーツクラブへの指導者派遣
				c	子どもの成長に合わせた指導方法を学ぶ講習会の開催
				b	指定管理者による総合型地域スポーツクラブでの教室開催
				b	スポーツ推進委員研修会の充実
				b	総合型地域スポーツクラブ意見交換会の開催
②アスリートのセカンドキャリア支援	○	C	4	d	事業者向け講演会の開催
				d	雇用事業者に対する助成金制度の検討
				b	スポーツ指導者の資格取得への支援
				b	豊橋ゆかりのアスリートとの交流事業の実施
③障害者のスポーツ活動を支える人材づくり		C	5	b	パラアスリートとの交流事業の実施
				c	障害者団体、関係団体、事業者等との意見交換会の開催
				b	障害者スポーツへの理解を深めるための講習会の開催
				d	障害者スポーツボランティア講習会の開催
				b	パラスポーツ出前講座の開催
④スポーツボランティアの参加促進	○	B	5	c	スポーツボランティア求人情報の提供
				b	スポーツボランティア講習会の開催
				b	スポーツボランティア登録制度の検討
				b	スポーツボランティアの活動事例紹介
				b	大学・企業協力ボランティアの参加促進

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①地域スポーツを支える人材づくり

【事業実績】

- ・総合型地域スポーツクラブと市内のスポーツ施設を管理する指定管理者との連携により、スポーツ教室を開催しました。
- ・6つの総合型地域スポーツクラブの相互交流やノウハウの共有、課題の解決などを目的とした意見交換会を開催しました。
- ・スポーツ推進委員の資質の向上やさらなる地域スポーツの推進を行うため、実技研修や救命講習会などを開催しました。
- ・総合型地域スポーツクラブへの指導者派遣は、想定していた連携や協力体制の構築が図れず成果が上がりませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・地域スポーツを担う団体の創設を目指す方に対して、継続的な支援が必要です。

②アスリートのセカンドキャリア支援

【事業実績】

- ・スポーツ指導者の資格取得を目的とした、スタートコーチ養成講習会の支援を行いました。
- ・事業者向け講演会の開催や雇用事業者に対する助成金制度の検討は、対象とする事業者の選定やニーズの把握などが課題となり、成果が上がりませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・本市単独での事業実施は対象者が限定的であるため、アスリートと企業を結び付ける取り組みである、日本オリンピック委員会（JOC）の「アスナビ」や愛知県の「アスサポあいち」の情報を効果的に発信する必要があります。

③障害者のスポーツ活動を支える人材づくり

【事業実績】

- ・車いすテニスのパラリンピアンである眞田卓選手及び豊橋ゆかりのアスリートである佐々木千依選手による車いすテニス体験会、ボッチャのパラリンピアンである江崎駿選手によるボッチャ体験会を開催しました。
- ・「とよはしスポーツ博」において、車いすバスケットボールのパラリンピアンである根木慎志氏及び三宅克己氏、藤澤潔氏による体験会のほか、アンプティサッカーの体験会を開催しました。
- ・パラスポーツ普及のため、ボッチャ教室の開催やゴールボールの出前授業などを行いました。
- ・(公財)日本財団パラスポーツサポートセンターが主催し、パラアスリート講師による共生社会への気づきや学びの機会を提供する出前授業「あすチャレ！スクール」を開催しました。
- ・障害者スポーツボランティア講習会の開催は、障害者スポーツに限定したボランティアの参加者を募ることなどの課題があり、講習会の開催には至らず成果が上がりませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・共生社会の理解促進につながる取り組みを推進しながら、担い手の確保をする必要があります。

④スポーツボランティアの参加促進

【事業実績】【課題及び今後の方向性】

- ・P.22 基本施策1 (8)スポーツボランティアの参加促進 参照

基本施策4 スポーツ施設の整備・機能充実

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①質と量を意識した公共スポーツ施設の整備	○	B	2	b	スポーツ施設の複合化・集約化を含めた整備計画の策定
				b	ユニバーサルデザインを意識した施設改修
②安全かつ効率的な施設の運営		B	3	a	施設の長寿命化に向けた適正な維持管理
				b	指定管理者による専門性・ノウハウを生かした効率的な施設管理
				b	指定管理者による施設の利用促進を図るための柔軟な施設運営
③公共スポーツ施設等の利便性向上		B	3	b	スポーツ施設の利用時間区分の見直し
				c	スポーツ施設の利用手続きの簡素化
				b	学校体育施設開放の利用手続きの簡素化

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①質と量を意識した公共スポーツ施設の整備

【事業実績】

- ・2026（令和8）年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に向け、ユニバーサルデザインを意識した施設機能の向上を図るため、総合体育館及び豊橋市民球場でバリアフリー化やトイレの改修等を行いました。
- ・豊橋市民球場において、スコアボードをフルカラーの全面LED方式に更新しました。
- ・多目的屋内施設等の整備に向け、「多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業」の事業者を決定し、特定事業契約を締結しました。
- ・豊橋公園内の球場、武道館、テニスコートを含め、市内全体のスポーツ施設の整備・再編に向けた検討を進めました。

【課題及び今後の方向性】

- ・スポーツ施設全体において、今後の施設の利用状況や市民ニーズなどを踏まえ、将来的な施設のあり方について整理する必要があります。

②安全かつ効率的な施設の運営

【事業実績】

- ・計画的な施設改修等を行うとともに、指定管理者により施設を適正に維持管理しました。
- ・利用者ニーズの変化を踏まえながら、指定管理者の知見を生かし、施設整備や機器等の更新を行いました。
- ・陸上競技において、オリンピアンの金丸祐三氏や桐生祥秀選手、吉津拓歩選手、小川大輝選手、村上幸史氏などによる講習会を開催しました。
- ・岩田運動公園内のスポーツ施設を広く周知するため、新たなイベントを開催しました。
- ・アクアリーナ豊橋において、スケートリンクに絵を描くイベントや足の不自由な方が普

ールに潜り、水中で子どもやパートナーを抱き上げて写真を撮るイベントを開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・利用者が安心してスポーツに取り組めるよう、計画に基づいて着実に施設改修等を行い、施設を適正に維持していく必要があります。
- ・利用者の増加や新たにスポーツに興味をもってもらうため、継続的に講習会や魅力あるイベントを開催していく必要があります。

③公共スポーツ施設等の利便性向上

【事業実績】

- ・1時間単位で利用できるよう利用時間区分の見直しを行いました。
- ・学校体育施設開放において、中学校部活動の土曜日及び祝日の活動の見直しに伴い、利用申請方法の変更を行いました。また、利用者等の手続きの簡素化を目的とし、インターネット予約とスマートロックを活用した実証実験を行いました。

【課題及び今後の方向性】

- ・利用者の利便性を向上するため、引き続き、手続きの簡素化などに向けて検討する必要があります。

基本施策5 スポーツによる活力の創出

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①スポーツツーリズムの推進	○	B	2	b	スポーツ合宿誘致補助事業の実施
				b	地域スポーツ資源を生かした誘客活動の実施
②ハイレベルなスポーツの誘致活動	○	A	3	b	2026年アジア競技大会の開催支援
				a	プロスポーツ競技・実業団大会等の誘致
				a	トップアスリート誘致事業の実施
③三遠ネオフェニックスとの連携の促進		A	2	b	三遠ネオフェニックスと東三河8市町村の連携会議の開催
				a	三遠ネオフェニックスと連携した各種事業のPR
④市民参加型イベントの充実		B	7	a	スポーツの日記念事業の開催
				b	穂の国・豊橋ハーフマラソンの開催
				d	F U N N I G H T R U N の開催
				b	豊橋みなとシティマラソンの開催
				b	市民体験事業(ベースボール遊び・テニスの日など)の実施
				c	朝のラジオ体操と歩行運動の開催
				c	電車やバスで行くウォーキングイベントの開催

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①スポーツツーリズムの推進

【事業実績】

- ・合宿等を検討している市外のスポーツ団体等を本市に誘致し、スポーツ施設の平日利用や、宿泊施設の需要喚起を目的としたスポーツ合宿等支援事業補助金を創設し、大学生をはじめとした多くの団体に利用いただきました。
- ・渥美半島をはじめとする東三河地域の魅力を国内外に発信し、本地域の活性化につなげることを目的とした「アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島」の初開催を支援しました。
- ・本市及び周辺地域を自転車で周遊し、自転車を楽しむ機会の提供や本市の魅力などを発信するため、「ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル」を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・スポーツ合宿等支援事業補助金において、これまでに補助制度を利用した団体への周知を継続するとともに、今後の継続的な利用につなげるための施設の適正な維持管理や新規利用団体の獲得のための効果的な制度周知が必要です。

②ハイレベルなスポーツの誘致活動

【事業実績】【課題及び今後の方向性】

- ・P. 22 基本施策1 ⑦ハイレベルなスポーツの誘致活動 参照

③三遠ネオフェニックスとの連携の促進

【事業実績】

- ・東三河 8 市町村と株式会社フェニックスとの連携協定に基づき、三遠ネオフェニックスのホームゲームに合わせ、「豊橋市 DAY」を開催し、豊橋市民の無料招待や本市の PR ブースを出展するなど、市民への観戦機会の提供や本市の魅力発信を行うイベントを開催しました。
- ・中央図書館やまちなか図書館にて、三遠ネオフェニックスの魅力の紹介や選手紹介パネル等の展示を行うとともに、現役選手等によるバスケットボールの魅力や観戦の楽しみ方などを伝えるトークイベント、おはなし会を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・今後も株式会社フェニックスとの連携協定に基づき、スポーツを活用したまちづくりを推進するため、新たな取り組みを展開していく必要があります。

④市民参加型イベントの充実

【事業実績】【課題及び今後の方向性】

- ・P. 21 基本施策 1 ⑤市民参加型イベントの充実 参照

基本施策6 スポーツによる共生・交流の促進

ア 実施事業の一覧

取り組み	重点	総合評価	事業数	評価	事業
①スポーツを通じた共生社会の推進	○	B	6	c	ゆるスポーツ体験会の開催
				b	パラアスリートとの交流事業の実施
				c	障害者団体、関係団体、事業者等との意見交換会の開催
				b	障害者スポーツへの理解を深めるための講習会の開催
				b	ユニバーサルデザインを意識した施設改修
				b	パラスポーツ出前講座の開催
②ホストタウン相手国などとのスポーツ交流の推進		C	2	d	オンライン等を活用した交流会の実施
				c	ヴォルフスブルグ市とのマラソンを通じた相互選手派遣事業の実施
③東三河や三遠南信地域などとのスポーツ交流の促進		B	3	b	ホストタウン自治体との連携
				c	三遠南信スポーツ交流の支援
				b	他市町村との合同研修会などへの参加
④豊橋ゆかりのアスリートとの交流の推進		B	4	b	オンラインスポーツスクールの開催
				b	応援会やパブリックビューイングの開催
				b	豊橋ゆかりのアスリートの情報発信
				b	豊橋ゆかりのアスリートとの交流事業の実施

イ 主な事業実績と課題及び今後の方向性

①スポーツを通じた共生社会の推進

【事業実績】【課題及び今後の方向性】

- ・P. 21 基本施策1 ④障害者のスポーツ参加機会の充実 参照
- ・P. 27 基本施策3 ③障害者のスポーツ活動を支える人材づくり 参照
- ・P. 28 基本施策4 ①質と量を意識した公共スポーツ施設の整備 参照

②ホストタウン相手国などとのスポーツ交流の推進

【事業実績】

- ・パートナーシティとして提携を結んでいるドイツ連邦共和国ヴォルフスブルグ市と相互交流の一環として、コロナ禍で開催されたオンラインマラソンに互いに参加し交流を図りました。
- ・オンライン等を活用した交流会の実施は、映像を通して異国の文化や習慣等を体験・学習し、相互理解の促進を図る際の課題があり、開催には至りませんでした。

【課題及び今後の方向性】

- ・今後も機会を捉えて諸外国との交流を深めていく必要があります。

③東三河や三遠南信地域などのスポーツ交流の促進

【事業実績】

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に出場するドイツ選手を応援するための動画等をホストタウン自治体と共同で制作し、SNS 等で配信しました。
- ・東三河のスポーツ推進委員相互の交流や親睦を図るとともに、地域スポーツを推進する指導者としての資質の向上を図ることを目的とした研修会を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・ホストタウン自治体と、今後も機会を捉えて連携を図る必要があります。
- ・今後も、地域スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員の研修会を東三河地域合同で継続的に開催していく必要があります。

④豊橋ゆかりのアスリートとの交流の推進

【事業実績】

- ・バスケットボールのオリンピアンである高田真希選手及び卓球のパラリンピアンである八木克勝選手による実技講習会やオンラインスクールを開催するとともに、陸上競技のオリンピアンである吉津拓歩選手、小川大輝選手によるトークイベント、佐々木千依選手による車いすテニス体験会を開催しました。
- ・豊橋ゆかりのアスリートが国際大会等に出場した際に、パブリックビューイングを実施するとともに、ホームページや SNS、庁舎内のじょうほうひろば等で情報を発信しました。
- ・「とよはしスポーツ博」の開催のほか、スポーツの日に合わせ、豊橋ゆかりのアスリートによるトークショーやレッスン、スポーツ体験などを行う「とよはしスポーツフェス」を開催しました。

【課題及び今後の方向性】

- ・トップアスリートのこれまでの経験談や一流の技術を学ぶ講習会を継続的に開催していく必要があります。
- ・豊橋ゆかりのアスリートに関する情報を継続的に発信し、応援の輪を広げていく必要があります。

2. 前期アクションプランの総括

基本施策1 スポーツ参加機会の充実

11の取り組みの総合評価は、A評価1、B評価8、C評価2となりました。

子どもや働く世代のほか、高齢者、障害者など誰もが気軽にスポーツ活動に参加する機会を提供するとともに、ハイレベルなスポーツの積極的な誘致やマラソンイベントにおけるボランティアの募集・育成など、「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進することができました。

今後も、各々が「する」「みる」「ささえる」立場で、気軽にスポーツに参加できる機会を継続的に確保していく必要があります。また、スケートボードやBMXをはじめとするアーバンスポーツや、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使ったeスポーツなどの多様なスポーツに触れる機会の提供について検討を進めるなど、スポーツへの参加機会を充実させていく必要があります。

基本施策2 スポーツ競技力の向上

3つの取り組みの総合評価は、すべてB評価となりました。

指導者を育成するための講習会の開催や資格取得の支援を行うとともに、競技者の育成を目的とした講習会の開催、競技団体の継続的な運営のための支援を行うなど、指導者・競技者・競技団体それぞれを育成するための取り組みを推進することができました。

また、国民スポーツ大会等へ出場する選手に対して激励会を開催するとともに、全国大会等へ出場する選手、団体へはさらなる飛躍を促すことを目的とした激励金を支給するなど、スポーツ競技力を向上させるための取り組みを推進することができました。

今後も、指導者・競技者・競技団体それぞれのニーズを踏まえた事業を展開するとともに、競技団体の運営に必要となる人材や指導者の確保など、運営体制を維持しながら、スポーツ競技力を向上させていく必要があります。

基本施策3 スポーツに関わる人づくりの推進

4つの取り組みの総合評価は、B評価1、C評価3となりました。

総合型地域スポーツクラブと指定管理者の連携によるスポーツ教室の開催をはじめ、6つの総合型地域スポーツクラブの相互交流やスポーツ推進委員の研修、パラスポーツの体験会や講習会の開催など、地域スポーツを支える人づくりの推進を図ることができました。一方で、アスリートのセカンドキャリアへの支援については、本市単独での事業実施では対象者が限定的であり、課題が残りました。

今後も、本市のスポーツ振興に欠かすことのできない指導者やボランティアの育成に寄与する取り組みを継続的に推進し、スポーツを支える方々が輝きながら活躍できる環境を整えていく必要があります。

基本施策4 スポーツ施設の整備・機能充実

3つの取り組みの総合評価は、すべてB評価となりました。

2026（令和8）年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会に向け、総合体育館及び豊橋市民球場の改修を行ったほか、「多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業」の特定事業契約の締結、市内全体のスポーツ施設の整備・再編に向けた検討を進めるなど、今後のスポーツ施設のあり方を見据え、事業を推進することができました。

また、スポーツ施設を適正に維持管理するとともに、指定管理者により特色あるイベントを開催するなど柔軟な施設運営を行い、市民が安全かつ快適な施設環境のもと気軽にスポーツに取り組める環境を整備しました。

今後も、利用者の安全・安心を最優先とした施設の維持管理を行うことはもちろんのこと、複合化・集約化等による将来的な維持管理費の軽減に向けた検討や利用者の利便性の向上など、さまざまな観点を踏まえ、今後のスポーツ施設の整備や改修等を進めていく必要があります。

基本施策5 スポーツによる活力の創出

4つの取り組みの総合評価は、A評価2、B評価2となりました。

スポーツ合宿等支援事業補助金の創設・普及のほか、「アイアンマン70.3 東三河ジャパンin渥美半島」の初開催への支援や、三遠ネオフェニックスと連携したイベント、ハイレベルなスポーツの誘致など、まちの魅力と活力の創出につながる取り組みを推進しました。

今後も、スポーツの持つ力を最大限に活用し、人と人との交流やつながりを通じて、本市のまちづくりに新たな活力を創出する取り組みを推進する必要があります。

基本施策6 スポーツによる共生・交流の促進

4つの取り組みの総合評価は、B評価3、C評価1となりました。

障害者スポーツの体験会のほか、共生社会への気づきや学びの機会を提供する出前授業の開催、他自治体とのスポーツを通じた交流、豊橋ゆかりのアスリートとの交流を行うなど、スポーツを通じた共生・交流の促進を図りました。

今後も、継続的な意識啓発や体験型イベント等の開催を通じて、互いを理解し尊重しあい、誰もがスポーツに親しむことができる環境を整えていく必要があります。

3. 後期アクションプランの策定に向けて

前期アクションプランにおいて、誰もが「する」「みる」「ささえる」立場で気軽にスポーツに参加する機会を確保するとともに、指導者や競技者の育成、競技団体への運営支援など、スポーツ競技力の向上に資する取り組みを推進してきました。

また、ハイレベルなスポーツの誘致や地域資源を生かした事業など、スポーツの持つ力を最大限に活用した、まちの魅力と活力の創出につながる取り組みやスポーツを通じた共生・交流の促進を図りました。

一方で、競技団体の継続的な運営や地域スポーツの推進に必要となる人材の確保をはじめ、老朽化が進むスポーツ施設への対策などスポーツを取り巻く課題へも適切に対応していく必要があります。

今後も「スポーツのまち」づくりを着実に進めるため、前期アクションプランの取り組みを踏まえるとともに、社会情勢の変化や新たな市民ニーズへの対応、関係団体や民間事業者との連携なども含め、具体的な取り組みをまとめた後期アクションプランを策定します。

4. 政策の方向性及び体制の見直し

(1) 政策の方向性

ビジョンの実現に向けた、前期アクションプランの政策の方向性を発展的に継承するとともに、第6次豊橋市総合計画との整合性を図るため、新たに「方向性4 多目的屋内施設等の整備・運営」を加えた、4つの政策の方向性による施策展開を行い「スポーツのまち」づくりを進めます。

方向性1 スポーツへの参加促進

多くの市民にスポーツの魅力を知ってもらい、スポーツに親しんでもらえるよう、年齢、障害などに関係なく、それぞれの目的に応じて気軽に「する」「みる」「ささえる」スポーツに参加できる機会を創出します。

方向性2 スポーツ環境の充実

市民が生涯にわたりスポーツに関わることができるよう、スポーツの取り組みをサポートする指導者の育成やスポーツ関連団体との連携を図るとともに、豊橋総合スポーツ公園に野球場を整備するなど快適なスポーツ環境を提供します。

方向性3 スポーツによるまちの魅力と活力の創出

スポーツを通じて地域を活性化できるよう、豊橋ゆかりのアスリートとの交流やプロスポーツの誘致を図るほか、マラソンをはじめとしたスポーツイベントを充実させるなど、スポーツの価値や楽しさを感じられる取り組みを進めます。

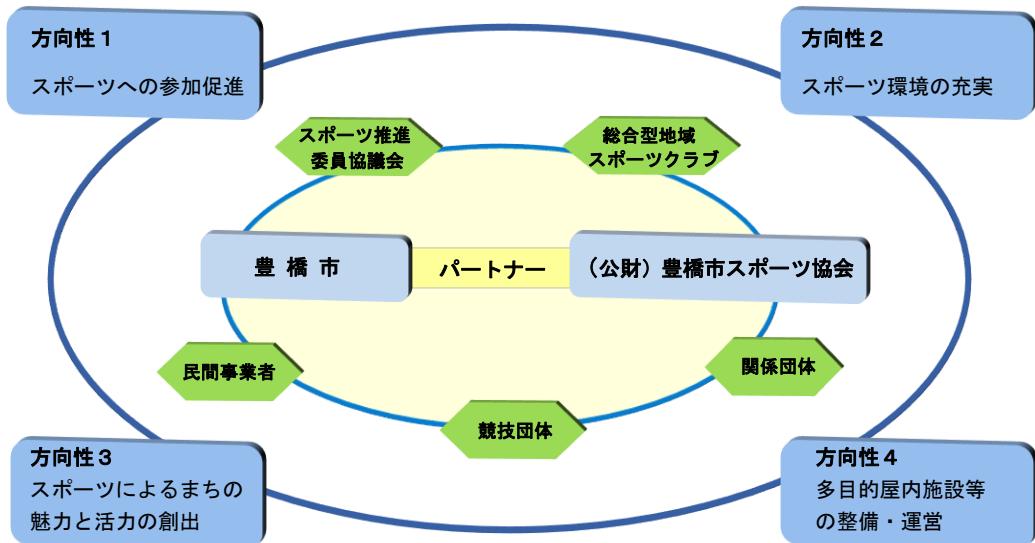
方向性4 多目的屋内施設等の整備・運営

市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツに親しむことができるよう、幅広いスポーツ機能を持った多目的屋内施設のほか、テニスコートや相撲場などを豊橋公園東側エリアへ一体的に整備・運営します。

(2) 推進体制・役割分担

スポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を担う豊橋市と、競技団体とのネットワークを持ち各種スポーツ教室の開催や指導者の育成などの専門的なノウハウを有する（公財）豊橋市スポーツ協会が、互いの役割や責任を認識するとともにパートナーとして協力しながらビジョンの推進を図っていきます。

また、スポーツ推進委員協議会や総合型地域スポーツクラブといった地域スポーツを支える団体との連携を深めることに加え、民間事業者、福祉や保健・医療などの関係団体とも協力し合い、皆でビジョンを共有しながら主体的に協働することで「スポーツのまち」づくりを進めることが必要になります。



IV 後期アクションプラン

ビジョンの実現に向け、今後5年間の具体的な取り組みを明らかにした後期アクションプランを策定し、計画的に事業に取り組みます。

1. 目標数値

後期アクションプランの進捗状況を把握するために目標数値を設定します。

指 標	基 準 値	目 標 値
	2025 年度 (R7)	2030 年度 (R12)
①週1回以上スポーツを行っている市民の割合*	50.9%	55.0%
②スポーツ環境への満足度*	57.0%	65.0%
③スポーツイベントの観覧者数・参加者数	153,690 人*	160,000 人

*①②は豊橋市市民意識調査の集計値（20歳以上の割合）

*③の基準値は2024年度（R6）の実績値

後期アクションプランにおけるSDGs（持続可能な開発目標）との関連

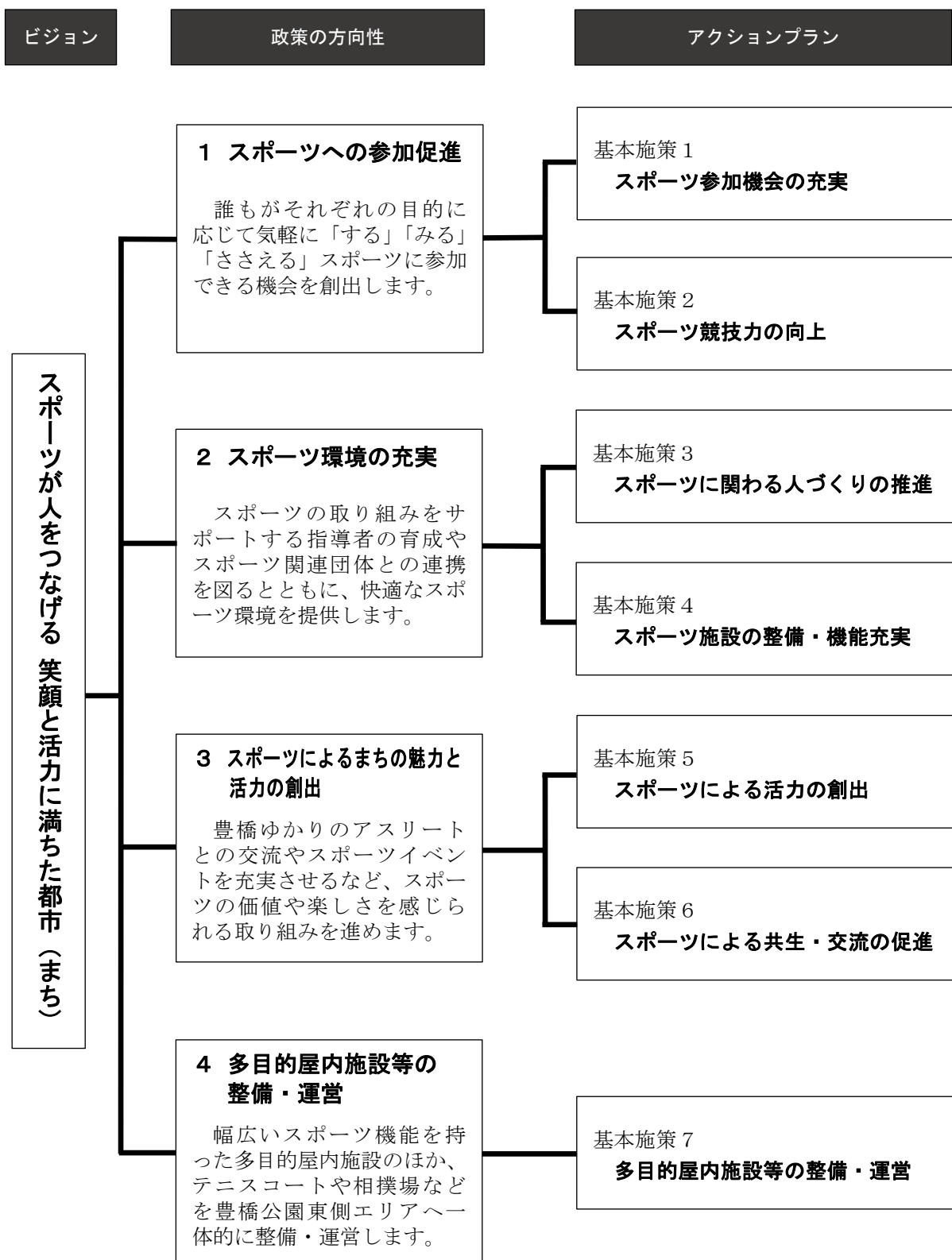
本市は令和元年に「SDGs未来都市」に選定されるなど、SDGsへ積極的に取り組んでおり、後期アクションプランにおいても、SDGsの視点を持って施策を推進します。

関連する主な目標は3・4・5・8・9・10・11・17です。



2. 体系

ビジョンの推進を図るため、政策の方向性の見直しに伴い、これまでの基本施策1「スポーツ参加機会の充実」から基本施策6「スポーツによる共生・交流の促進」に、新たに基本施策7「多目的屋内施設等の整備・運営」を加え、取り組みを推進します。



3. 取り組みと事業

後期アクションプランでの取り組み項目と事業数は以下のとおりです。それぞれの施策ごとに重点取り組みを設けることで効果的に施策を展開し、目標数値の達成を目指していきます。

アクションプラン	取り組み		事業数
基本施策 1 スポーツ参加機会の充実	重点	①子どものスポーツ機会の創出	6
	重点	②ライフスタイルに合わせた健康・体力づくりの推進	6
		③高齢者の生きがいづくりの推進	4
	重点	④障害者のスポーツ参加機会の充実	3
		⑤市民参加型イベントの充実	7
		⑥地域スポーツの推進	3
	重点	⑦ハイレベルなスポーツの誘致活動	2
		⑧スポーツボランティアの参加促進	2
		⑨情報通信技術を活用したスポーツ機会の創出	3
		⑩スポーツ情報の発信	3
基本施策 2 スポーツ競技力の向上	重点	①スポーツ指導者の育成	3
		②競技者・競技団体の育成	10
		③選手・指導者への顕彰	4
基本施策 3 スポーツに関わる人づくりの推進	重点	①地域スポーツを支える人材づくり	3
		②障害者のスポーツ活動を支える人材づくり	4
		③スポーツボランティアの参加促進	2
基本施策 4 スポーツ施設の整備・機能充実	重点	①多様なニーズに対応したスポーツ施設の整備と最適化	5
	重点	②安全かつ快適な施設の運営	5
		③スポーツ施設等の利便性向上	3
基本施策 5 スポーツによる活力の創出	重点	①地域資源の魅力を生かしたスポーツの推進	2
	重点	②ハイレベルなスポーツの誘致活動	2
		③三遠ネオフェニックスとの連携の促進	2
		④市民参加型イベントの充実	7
基本施策 6 スポーツによる共生・交流の促進	重点	①スポーツを通じた共生社会の推進	6
		②豊橋ゆかりのアスリートとの交流の推進	4
		③スポーツを通じた国際交流・協力の推進（新規）	1
		④スポーツに関わるすべての人の安心の確保（新規）	1
基本施策 7 多目的屋内施設等の整備・運営	重点	①多目的屋内施設等を活用した事業の推進（新規）	6

基本施策1 スポーツ参加機会の充実

子どもや働く世代さらには高齢者や障害者など、誰もが気軽にさまざまなスポーツ活動に参加し、生涯にわたり生きがいある暮らしを送ることができるよう、市民の「する」「みる」「ささえる」スポーツへの参加機会の充実を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①子どものスポーツ機会の創出	継続	親子で楽しめる運動あそび教室の開催	スポーツ課 こども未来館
	継続	子ども向けスポーツ体験イベントの開催	スポーツ課 こども未来館
	継続	子どもの基礎体力づくりのための運動教室の開催	スポーツ協会
	継続	子ども向けスポーツ教室の開催	スポーツ協会
	新規	のびるん de スクール・Do のびるん de スクールによる多様な体験活動機会の創出	地域教育推進室
	新規	国際大会等の観戦支援	スポーツ協会
②ライフスタイルに合わせた健康・体力づくりの推進	継続	ライフスタイルに合わせたスポーツ教室の開催	健康増進課 スポーツ協会 指定管理者
	継続	とよはし健康マイレージの実施	健康増進課
	継続	健康経営/とよはし健康宣言事業所の認定・支援	健康増進課
	継続	地域で取り組む健康づくりの支援	健康増進課
	継続	特定保健指導 運動教室の開催	健康増進課
	新規	クアオルト健康ウォーキング*の開催 *自然環境を活用し、個人の体力に合わせて実施するウォーキング	健康増進課
③高齢者の生きがいづくりの推進	継続	ウォーキング・体力測定事業の実施	長寿介護課 スポーツ協会
	継続	シニアスポーツ講座の開催	長寿介護課
	継続	シニアスポーツ大会の開催	長寿介護課
	新規	シニア世代の運動自主グループの立ち上げや活動継続の支援	長寿介護課
④障害者のスポーツ参加機会の充実	継続	障害者スポーツイベントの開催	スポーツ課
	継続	スポーツレクリエーション用具・障害者スポーツ用具の貸し出し	スポーツ協会
	継続	さくらピアスポーツ文化教室の開催	障害福祉課

取り組み	事業		主な実施主体
⑤市民参加型イベントの充実	継続	スポーツの日記念事業の開催	スポーツ協会
	継続	鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソンの開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続	豊橋みなとシティマラソンの開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続	多様な市民体験イベントの開催	スポーツ課 スポーツ協会 指定管理者
	継続	市民スポーツ祭の開催	スポーツ協会
	新規	とよはしスポーツ博の開催	スポーツ課 スポーツ協会
	新規	デジタルサイクリングマップを生かした自転車の活用推進イベントの開催	都市交通課
⑥地域スポーツの推進	継続	スポーツフェスタの開催	スポーツ課
	継続	マイタウンスポーツクラブ交流フェスタの開催	スポーツ課
	継続	地区体育館スポーツフェスティバルの開催	スポーツ協会
⑦ハイレベルなスポーツの誘致活動	継続	2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催支援	スポーツ課
	継続	プロスポーツ競技・実業団大会、トップアスリート等の誘致事業の実施	スポーツ課 スポーツ協会
⑧スポーツボランティアの参加促進	継続	スポーツボランティア講習会の開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続	スポーツボランティア登録制度の構築	スポーツ課 スポーツ協会
⑨情報通信技術を活用したスポーツ機会の創出	継続	地域スポーツ大会動画配信の推進	スポーツ課
	継続	オンラインによるイベント・教室の開催	スポーツ課
	新規(再掲)	デジタルサイクリングマップを生かした自転車の活用推進イベントの開催	都市交通課
⑩スポーツ情報の発信	継続	SNS等を活用した多様なスポーツ情報の発信	スポーツ課 スポーツ協会 指定管理者
	継続	豊橋ゆかりのアスリートの情報発信	スポーツ課
	新規	スポーツ施設へのネーミングライツ制度の導入	スポーツ課 スポーツ施設再編室

基本施策2 スポーツ競技力の向上

スポーツによる達成感や自己実現といった人生をより豊かにする機会を提供するとともに、市民も選手等の活躍から勇気や誇りを得ることで、その後のスポーツ活動への参加につながるよう、スポーツ競技力の向上を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①スポーツ指導者の育成	継続	スポーツ指導者の資格取得への支援	スポーツ協会
	継続	スポーツ少年団指導者講習会の開催	スポーツ協会
	継続	シニアスポーツ指導者講習会の開催	長寿介護課
②競技者・競技団体の育成	継続	スポーツ指導者の確保・派遣	スポーツ協会 指定管理者
	継続	豊橋ゆかりのアスリートとの交流事業の実施	スポーツ課
	継続	愛知県市町村対抗駅伝競走大会参加への支援	スポーツ課
	継続	渥美半島駅伝競走大会の開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続	スポーツ教室の開催	スポーツ協会
	継続	スポーツ少年団活動への活動助成	スポーツ協会
	継続	スポーツ協会加盟団体実施大会への助成	スポーツ協会
	継続	総合型地域スポーツクラブへの活動助成	スポーツ協会
	継続 (再掲)	プロスポーツ競技・実業団大会、トップアスリート等の誘致事業の実施	スポーツ課 スポーツ協会
③選手・指導者への顕彰	新規 (再掲)	国際大会等の観戦支援	スポーツ協会
	継続	全国大会等で活躍した選手・指導者の紹介	スポーツ課
	継続	スポーツ表彰の実施	スポーツ課 スポーツ協会
	継続	インターハイ・国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会出場選手激励会の開催	スポーツ課 障害福祉課 スポーツ協会
	継続	世界大会及び全国大会出場者への激励	スポーツ課 スポーツ協会

基本施策3 スポーツに関する人づくりの推進

市民が指導者をはじめとするスポーツを支える人に恵まれた中でスポーツ活動に取り組める環境を整えるとともに、指導者も次世代の育成などにより生きがいや活力を得ながら継続的に本市で活躍することができるよう、本市のスポーツに関する人づくりを進めます。

取り組み	事業		主な実施主体
①地域スポーツを支える人材づくり	継続	指定管理者による総合型地域スポーツクラブでの教室開催	指定管理者
	継続	スポーツ推進委員研修会の充実	スポーツ課 スポーツ推進委員協議会
	継続	総合型地域スポーツクラブ意見交換会の開催	スポーツ課
②障害者のスポーツ活動を支える人材づくり	継続	パラアスリートとの交流事業の実施	スポーツ課
	継続	障害者団体、関係団体、事業者等との意見交換会などの開催	スポーツ課
	継続	障害者スポーツへの理解を深めるための講習会の開催	スポーツ協会
	継続	パラスポーツ出前講座の開催	スポーツ課
③スポーツボランティアの参加促進	継続 (再掲)	スポーツボランティア講習会の開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続 (再掲)	スポーツボランティア登録制度の構築	スポーツ課 スポーツ協会

基本施策4 スポーツ施設の整備・機能充実

市民が安全かつ快適な施設環境のもと気軽にスポーツ活動に取り組めるよう、施設の規模や特性、利用状況や将来的なニーズなどを踏まえながら、スポーツ施設の整備を進めるとともに機能の充実を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①多様なニーズに対応したスポーツ施設の整備と最適化	継続	複合化・集約化を含めたスポーツ施設の再編	スポーツ施設再編室
	継続	ユニバーサルデザインを意識した施設改修	スポーツ課
	新規	多目的屋内施設をはじめとした豊橋公園東側エリアの一体的な整備・運営	スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	豊橋総合スポーツ公園への野球場整備	スポーツ課 公園緑地課
	新規	ゼロカーボンシティの実現を目指したスポーツ施設の照明設備改修	スポーツ課
②安全かつ快適な施設の運営	継続	施設の長寿命化に向けた適正な維持管理	スポーツ課
	継続	指定管理者による専門性・ノウハウを生かした効率的な施設管理	指定管理者
	継続	指定管理者による施設の利用促進を図るための柔軟な施設運営	指定管理者
	新規	スポーツ活動中の暑熱対策	スポーツ課
	新規(再掲)	スポーツ施設へのネーミングライツ制度の導入	スポーツ課 スポーツ施設再編室
③スポーツ施設等の利便性向上	継続	スポーツ施設の利用時間区分の見直し	スポーツ課
	継続	スポーツ施設の利用手続きの簡素化	スポーツ課
	継続	学校体育施設開放の利用手続きの簡素化	スポーツ課

基本施策5 スポーツによる活力の創出

スポーツの持つ力を最大限に活用し、人と人との交流が生まれることにより、地域資源の魅力を発信する機会が増え、ひいては本市のまちの活力が創出されるよう、ハイレベルなスポーツの誘致やスポーツイベントの充実を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①地域資源の魅力を生かしたスポーツの推進	継続	スポーツ合宿誘致補助事業の実施	スポーツ課
	新規(再掲)	多目的屋内施設をはじめとした豊橋公園東側エリアの一体的な整備・運営	スポーツ施設再編室 指定管理者
②ハイレベルなスポーツの誘致活動	継続(再掲)	2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催支援	スポーツ課
	継続(再掲)	プロスポーツ競技・実業団大会、トップアスリート等の誘致事業の実施	スポーツ課 スポーツ協会
③三遠ネオフェニックスとの連携の促進	継続	三遠ネオフェニックスと連携した各種事業のPR	スポーツ課 関係各課
	新規	三遠ネオフェニックスと連携したスポーツ教室等の開催	スポーツ課 スポーツ協会
④市民参加型イベントの充実	継続(再掲)	スポーツの日記念事業の開催	スポーツ協会
	継続(再掲)	鈴木亜由子杯 穂の国・豊橋ハーフマラソンの開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続(再掲)	豊橋みなとシティマラソンの開催	スポーツ課 スポーツ協会
	継続(再掲)	多様な市民体験イベントの開催	スポーツ課 スポーツ協会 指定管理者
	継続(再掲)	市民スポーツ祭の開催	スポーツ協会
	新規(再掲)	とよはしスポーツ博の開催	スポーツ課 スポーツ協会
	新規(再掲)	デジタルサイクリングマップを生かした自転車の活用推進イベントの開催	都市交通課

基本施策6 スポーツによる共生・交流の促進

誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、さまざまな立場・状況の人と「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じることのできるよう、スポーツイベント等を通じて、共生と交流の促進を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①スポーツを通じた共生社会の推進	継続(再掲)	多様な市民体験イベントの開催	スポーツ課 スポーツ協会 指定管理者
	継続(再掲)	パラアスリートとの交流事業の実施	スポーツ課
	継続(再掲)	障害者団体、関係団体、事業者等との意見交換会などの開催	スポーツ課
	継続(再掲)	障害者スポーツへの理解を深めるための講習会の開催	スポーツ協会
	継続(再掲)	ユニバーサルデザインを意識した施設改修	スポーツ課
	継続(再掲)	パラスポーツ出前講座の開催	スポーツ課
②豊橋ゆかりのアスリートとの交流の推進	継続(再掲)	オンラインによるイベント・教室の開催	スポーツ課
	継続	応援会やパブリックビューイングの開催	スポーツ課
	継続(再掲)	豊橋ゆかりのアスリートの情報発信	スポーツ課
	継続(再掲)	豊橋ゆかりのアスリートとの交流事業の実施	スポーツ課
③スポーツを通じた国際交流・協力の推進	新規	国際大会等における交流機会の創出	スポーツ課
④スポーツに関わるすべての人の安心の確保	新規	暴力や各種ハラスメントを未然に防ぐ対策の実施	スポーツ課 スポーツ協会

基本施策7 多目的屋内施設等の整備・運営

市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツに親しむことができるよう、幅広いスポーツ機能を持った多目的屋内施設のほか、テニスコートや相撲場などを豊橋公園東側エリアへ一体的に整備・運営し、新たな価値の創造を図ります。

取り組み	事業		主な実施主体
①多目的屋内施設等を活用した事業の推進	新規	ユニバーサルデザインを意識した誰もが快適に安心して楽しめる施設整備	スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	多様なスポーツ教室の開催による「する」スポーツの促進	スポーツ課 スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	関係団体等と連携した地域スポーツの推進	スポーツ課 スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	愛知国際アリーナとの連携等による高い体験価値の提供	スポーツ課 スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	国内トップレベルのスポーツやアスリート等の誘致	スポーツ課 スポーツ施設再編室 指定管理者
	新規	多目的屋内施設等の利用を通じた東三河エリアの交流の促進	スポーツ課 スポーツ施設再編室

參 考 資 料

● 「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査結果

1. 調査概要

- ・調査期間 2025（令和7）年8月21日（木）から9月12日（金）まで
- ・調査対象 市内在住の16歳以上の方
- ・送付数 2,000人分（住民基本台帳から無作為抽出）
- ・調査方法 設問用紙を郵送し、郵送またはWebにより回答

2. 回答結果

- ・回答者数 812人（内、紙回答 444人 Web回答 368人）
- ・有効回答者数 809人
(全問無回答は無効とする。また、「紙」での回答と「Web」での回答が重複している場合は、「Web」での回答を有効回答とする。)
- ・有効回答者率 40.5%

*各設問における無回答者については集計対象としていません。

*集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがあります。

*本文中の各設問の図中に示されている「n=○○」の数値は、当該設問の有効回答数です。

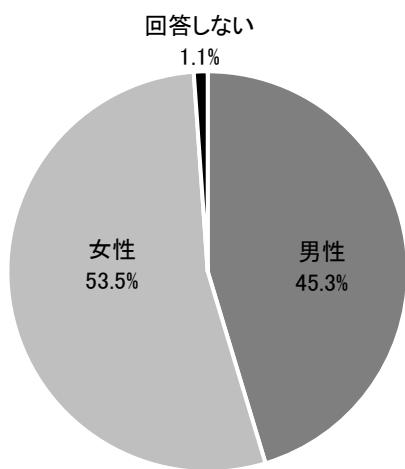
*回答比率（%）は、その設問の有効回答数を母数として算出しています。

*有効回答数は、単数回答の設問では、当該設問の有効回答者数となりますが、複数回答の設問では、選択された各選択肢の合計となります。

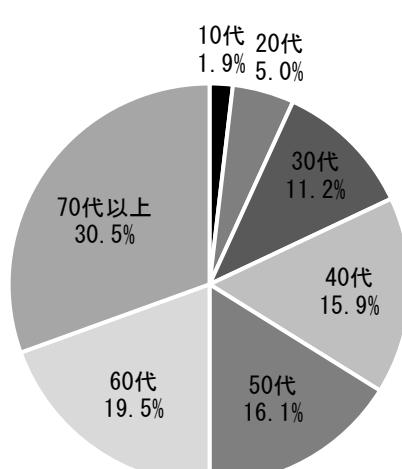
3. アンケート結果

■あなたのことについて

問1 性別を教えてください



問2 年代を教えてください

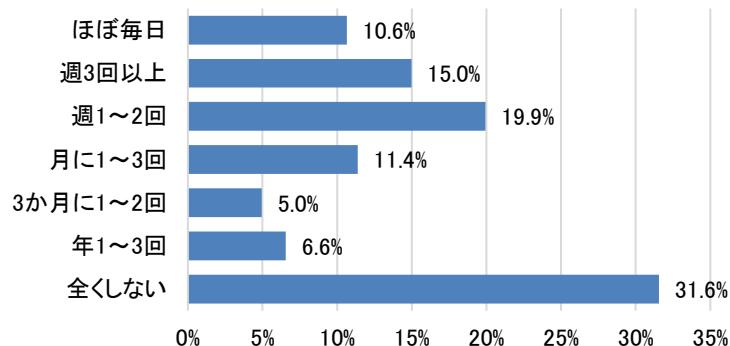


n=805

n=806

■スポーツを「する」について

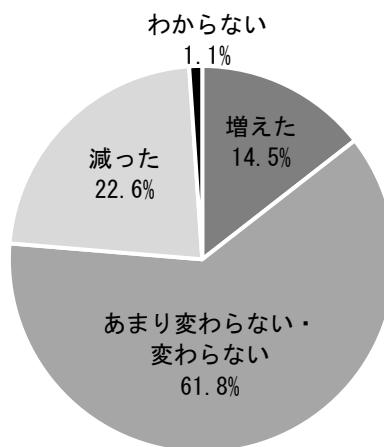
問3 この1年間、どのくらいの頻度でスポーツをしていますか（○は1つ）



n=808

問3-1（問3で「1～6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします）

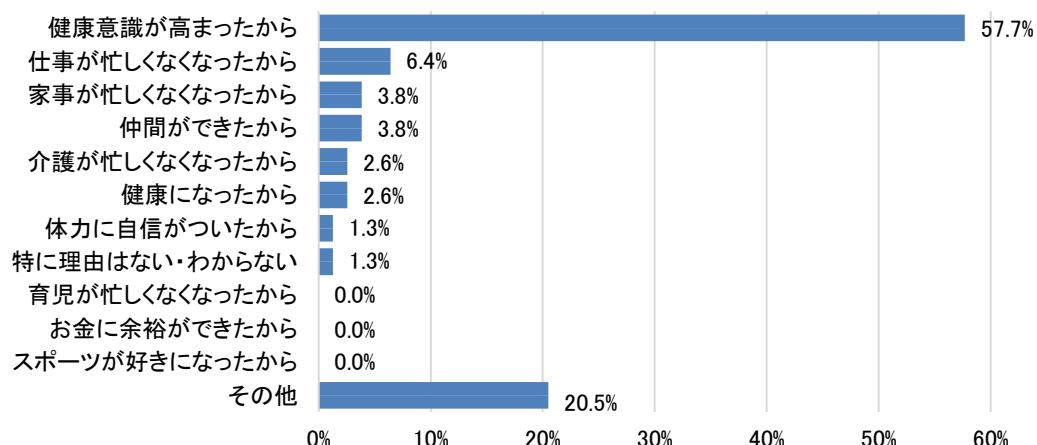
1年前と比べて、スポーツをする頻度は増えましたか、減りましたか（○は1つ）



n=553

問3-2（問3-1で「1 増えた」と回答した方にお聞きします）

1年前と比べて、スポーツをする頻度が増えた理由は何ですか（○は1つ）

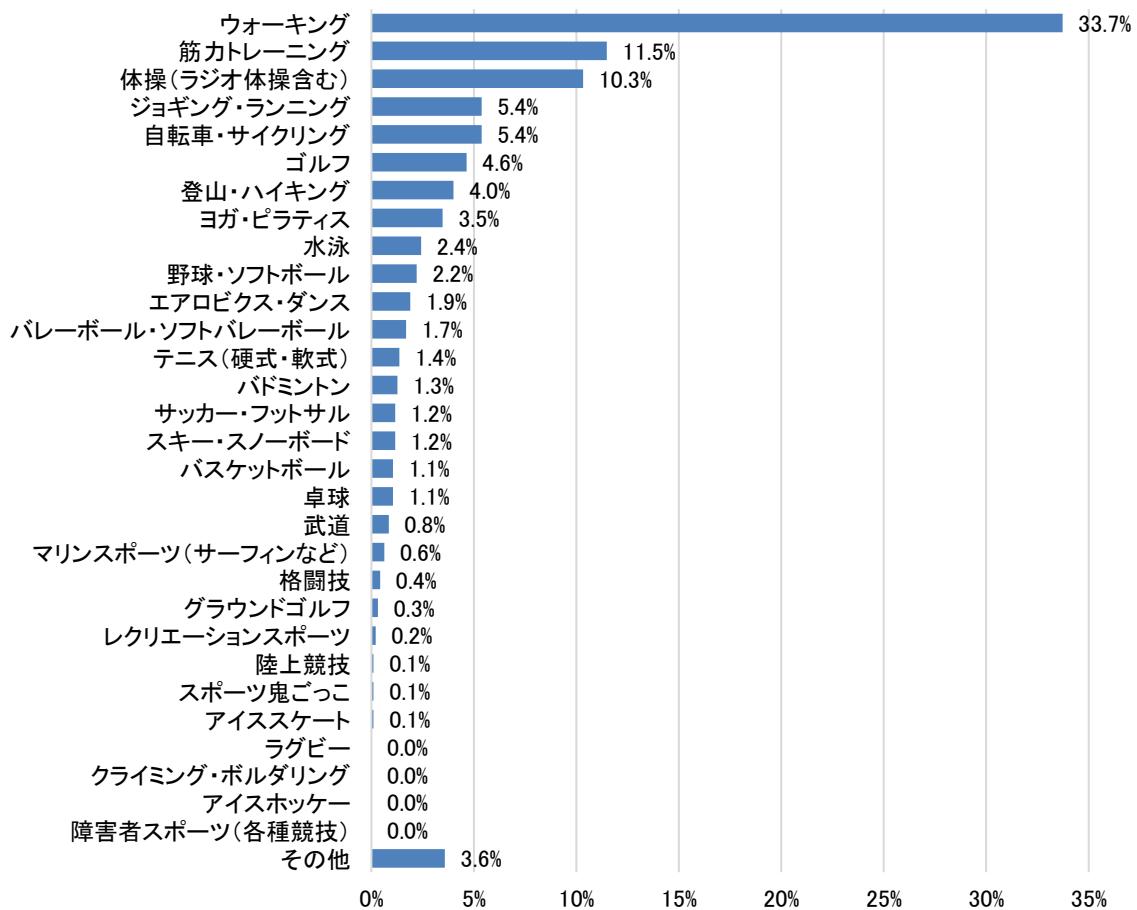


その他：医師に勧められたから、子どもと一緒に取り組むようになったから など

n=78

問3-3 (問3で「1～6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)

よくするスポーツは何ですか (○は3つまで)

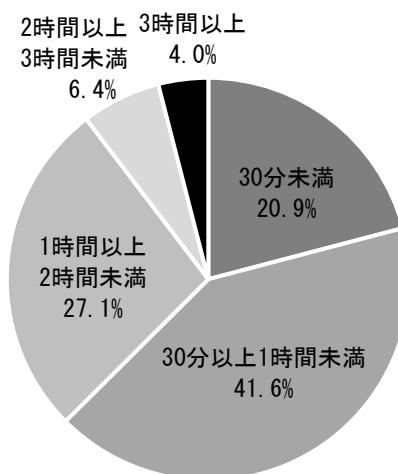


その他: ボーリング、ダーツ、インディアカ、太極拳 など

n=949

問3-4 (問3で「1～6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)

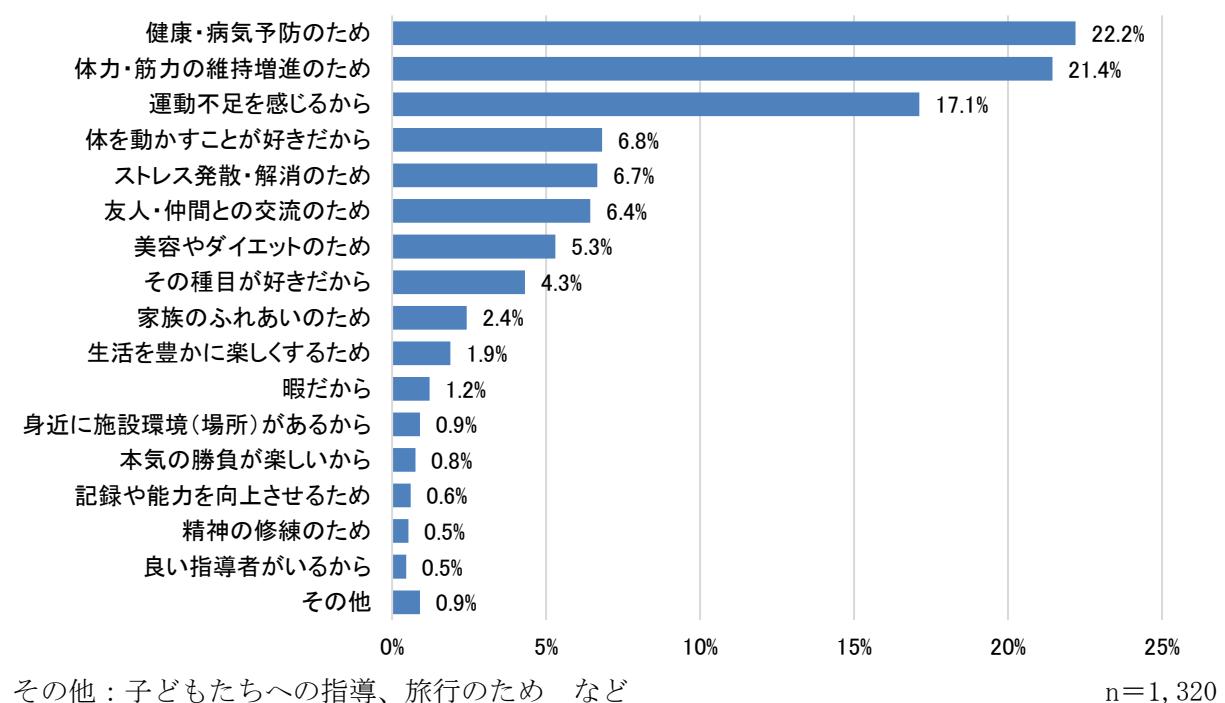
1回あたり平均してどのくらいの時間、スポーツを行いますか (○は1つ)



n=550

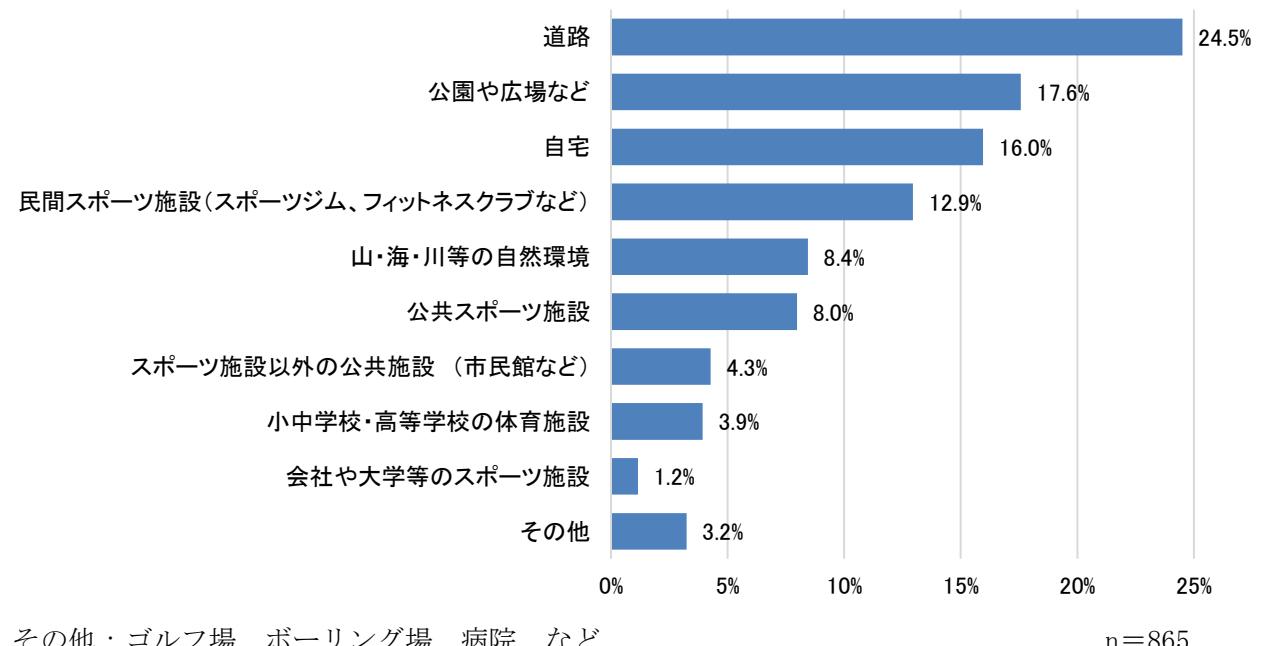
問3-5 (問3で「1～6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)

スポーツをする主な理由（目的）は何ですか（○は3つまで）



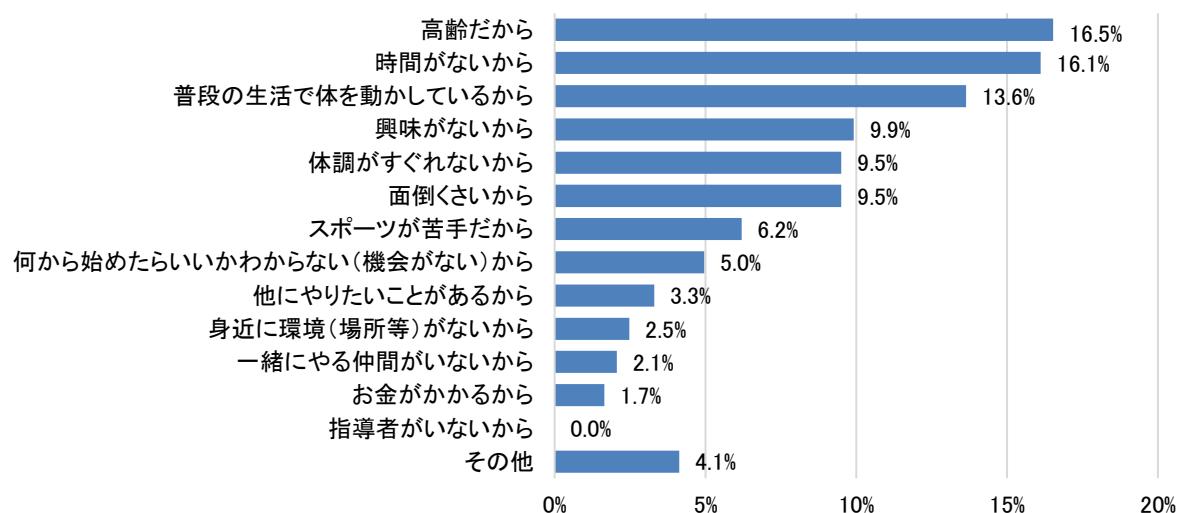
問3-6 (問3で「1～6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)

スポーツをする主な施設や場所はどこですか（○は3つまで）



問3-7 (問3で「7 全くしない」と回答した方にお聞きします)

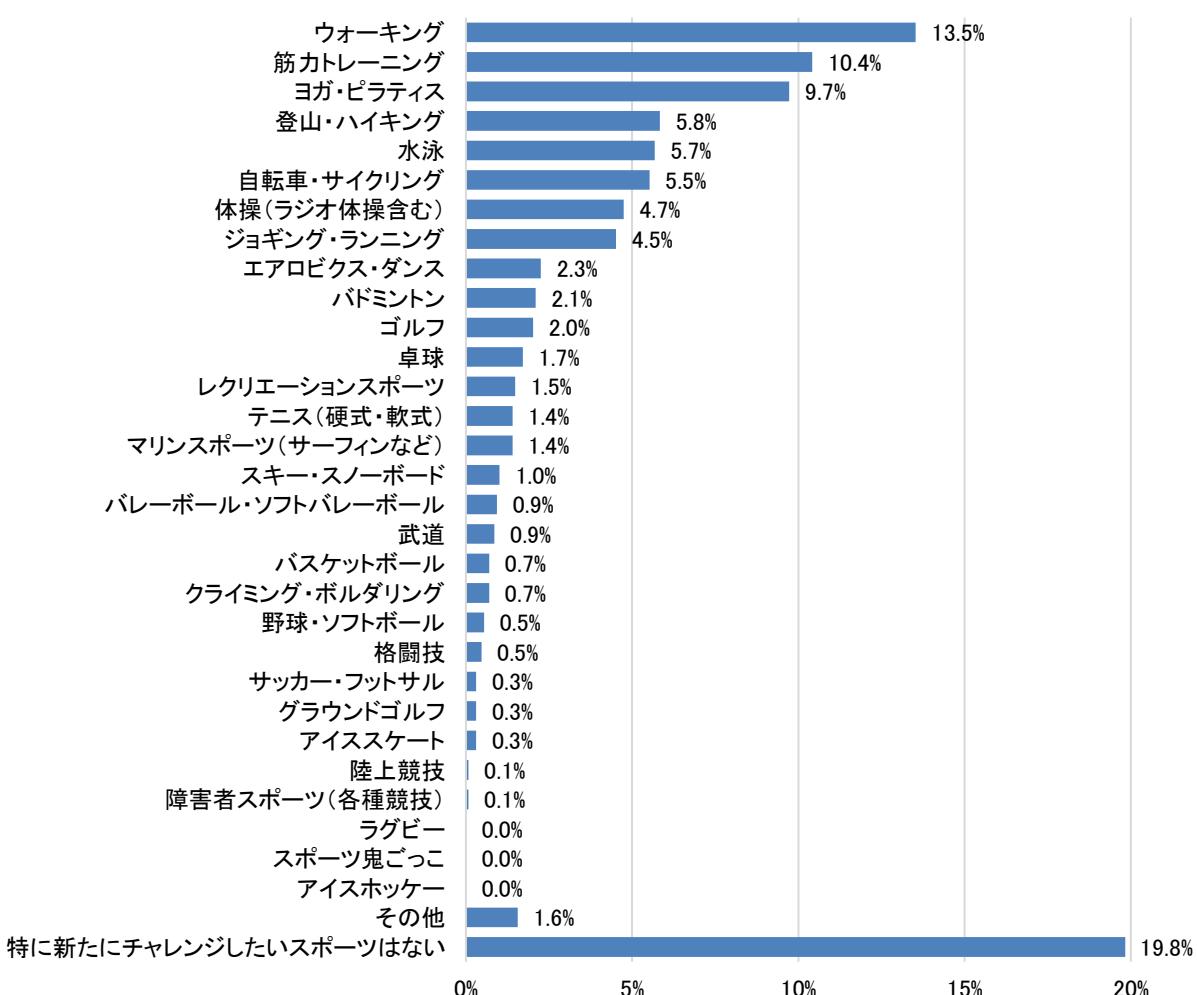
この1年間にスポーツをしなかった主な理由は何ですか (○は1つ)



その他：治療・療養中のため、やる気が出ないから など

n=242

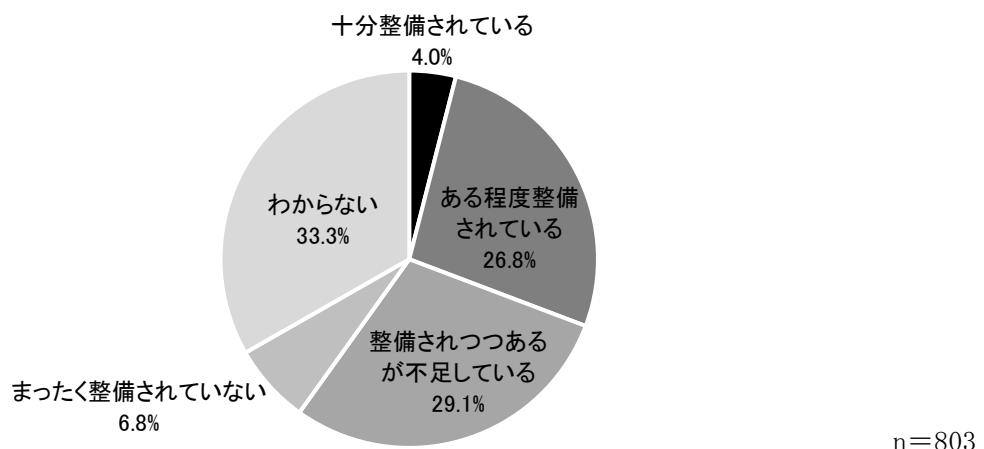
問4 これから新たにどんなスポーツにチャレンジしたいと思いますか (○は3つまで)



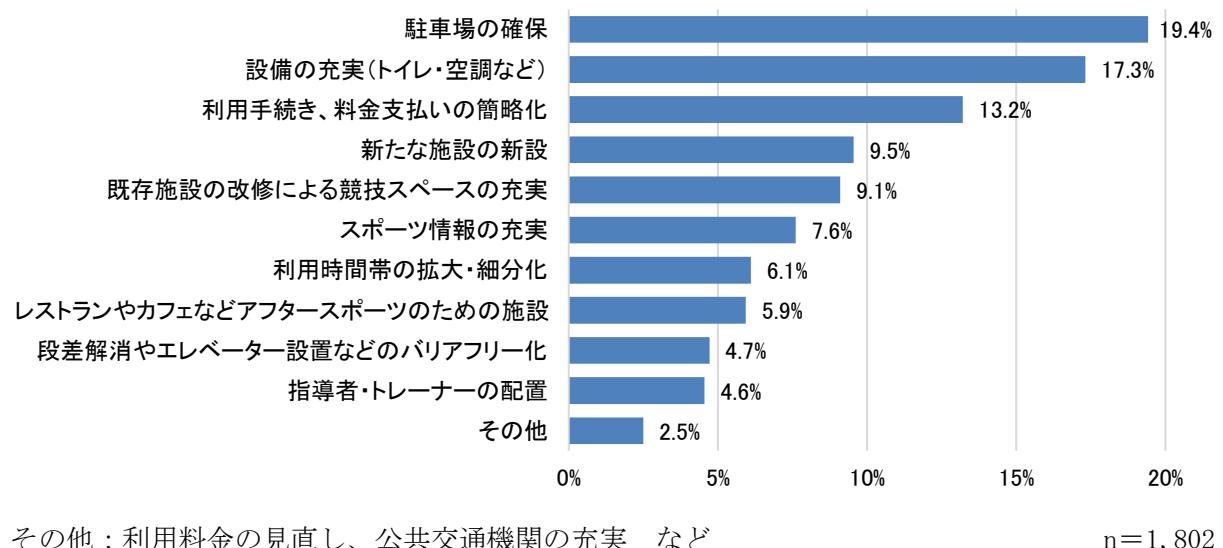
その他：太極拳、ゲートボール、ハンドボール など

n=1,286

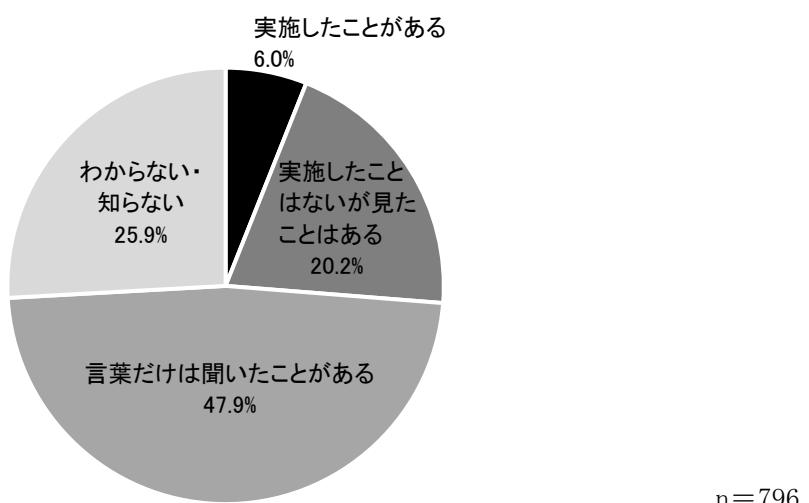
問5 豊橋市内においてスポーツをする環境は整備されていると思いますか（○は1つ）



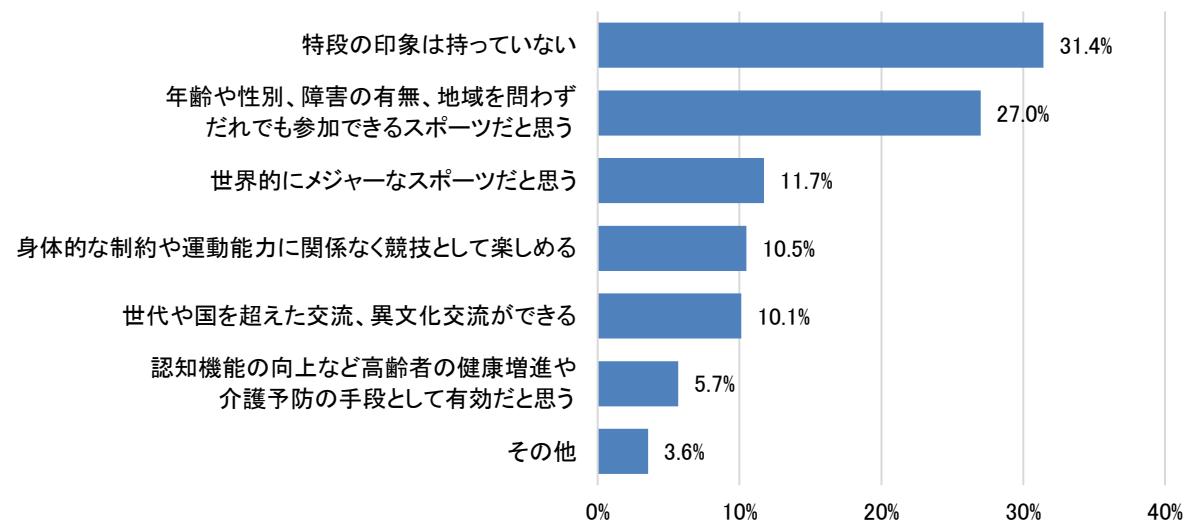
問6 施設を利用する上で、スポーツがしやすくなる環境とするために何が必要だと思いますか（○は3つまで）



問7 「e スポーツ」を実施したことはありますか（○は1つ）



問7-1 (問7で「1~3 「eスポーツ」を知っている」と回答した方にお聞きします)
 「eスポーツ」に対する印象について、最もあてはまるものを選んでください(○は1つ)

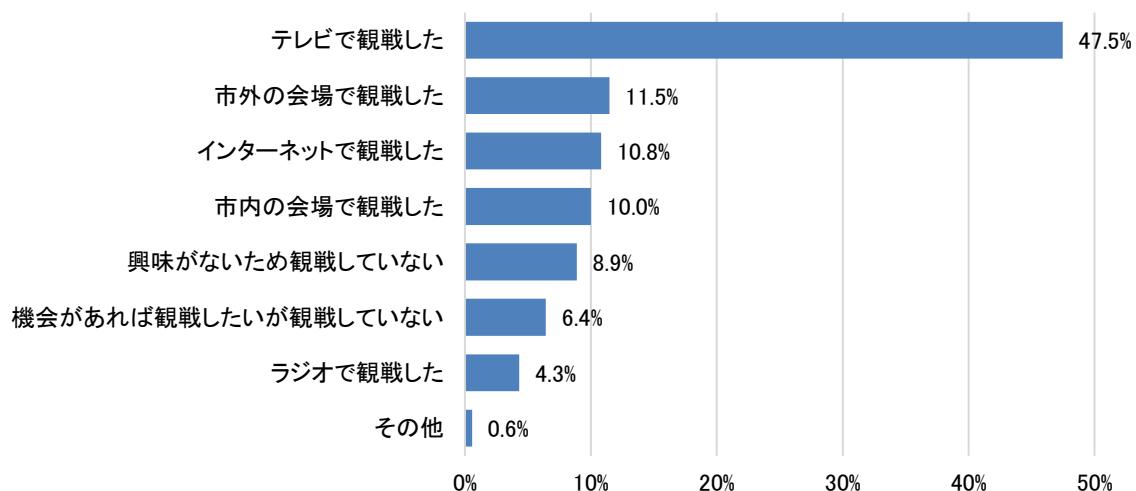


その他：頭の体操、スポーツとは思えない など

n=563

■スポーツを「みる」について

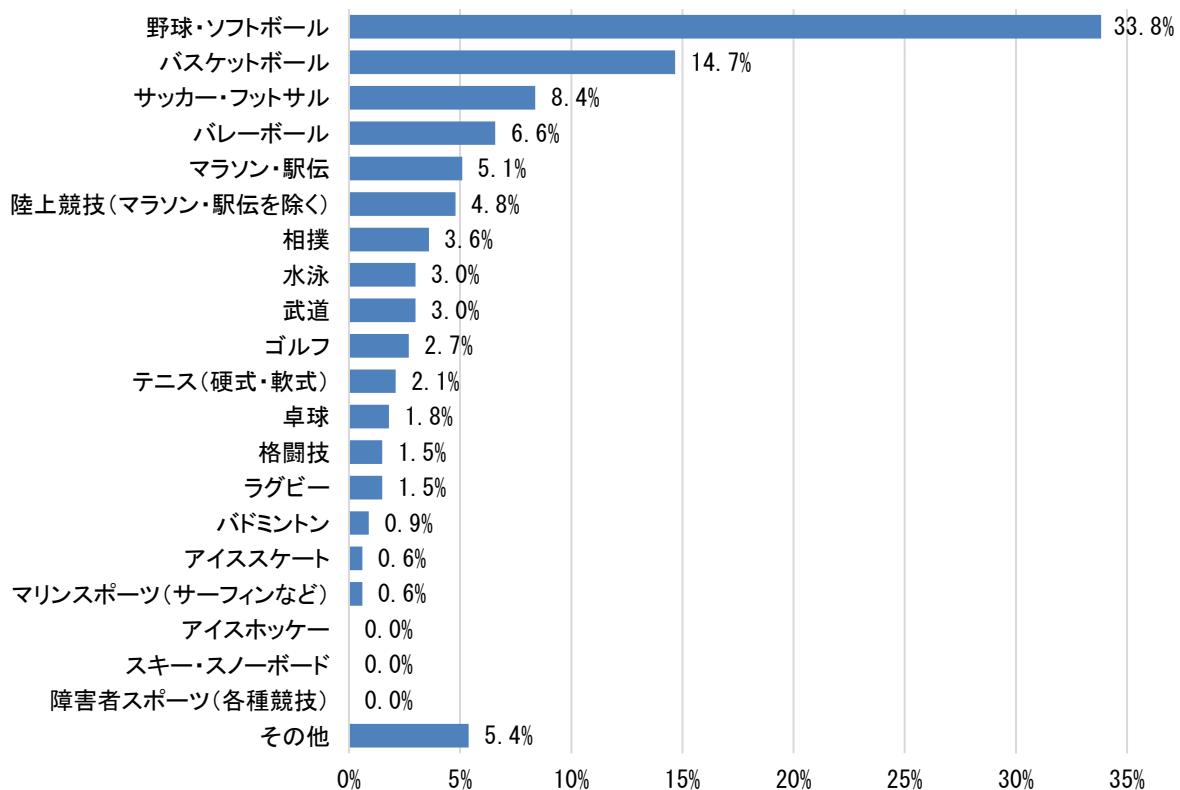
問8 この1年間で何らかの形でスポーツを見る機会がありましたか(○は3つまで)
 ただし、スポーツニュースなどで試合結果を見るることは観戦には含めません



その他：海外で観戦 など

n=1,228

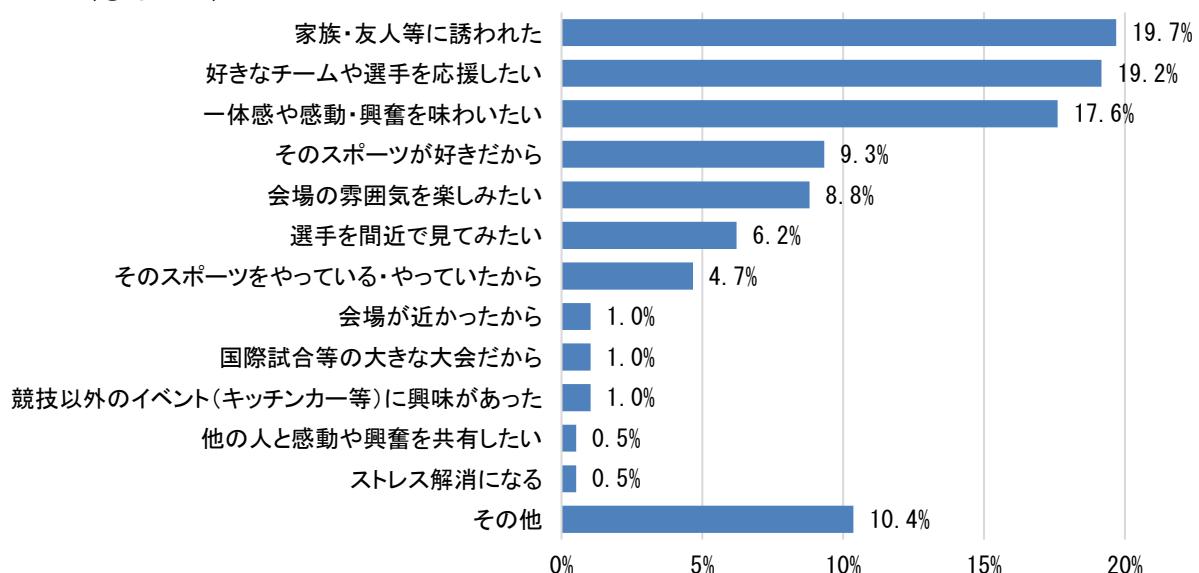
問8-1 (問8で「1・2 会場で観戦した」と回答した方にお聞きします)
この1年間に会場で観戦したスポーツ種目は何ですか (○は3つまで)



その他：ハンドボール、新体操、ボクシング など

n=334

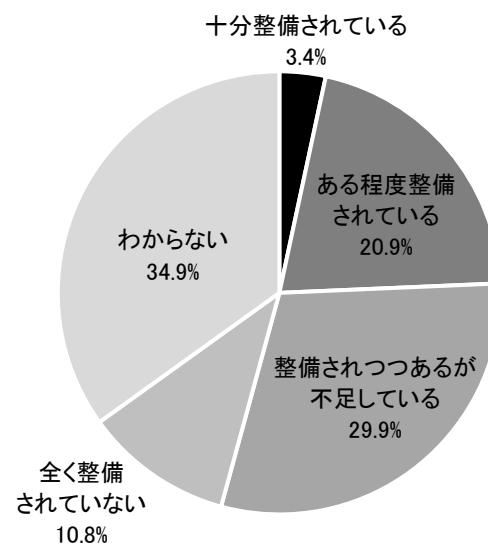
問8-2 (問8で「1・2 会場で観戦した」と回答した方にお聞きします)
会場で観戦しようとした理由について、最もあてはまるものを選んでください
(○は1つ)



その他：家族が行っているスポーツを観戦するため、チケットが手に入ったから など

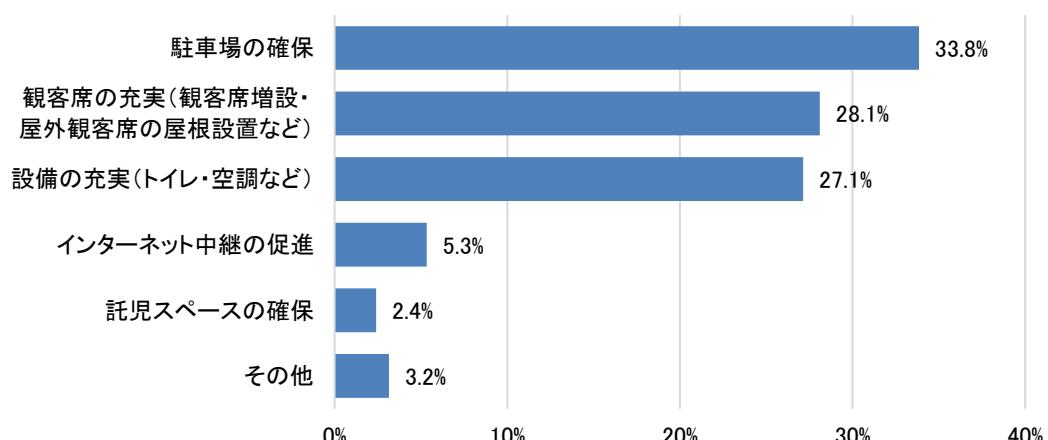
n=193

問9 豊橋市内において、スポーツの観戦や応援をする環境は整備されていると思いますか
(○は1つ)



n=802

問10 スポーツの観戦や応援がしやすくなる環境とするため、何が必要だと思いますか
(○は3つまで)

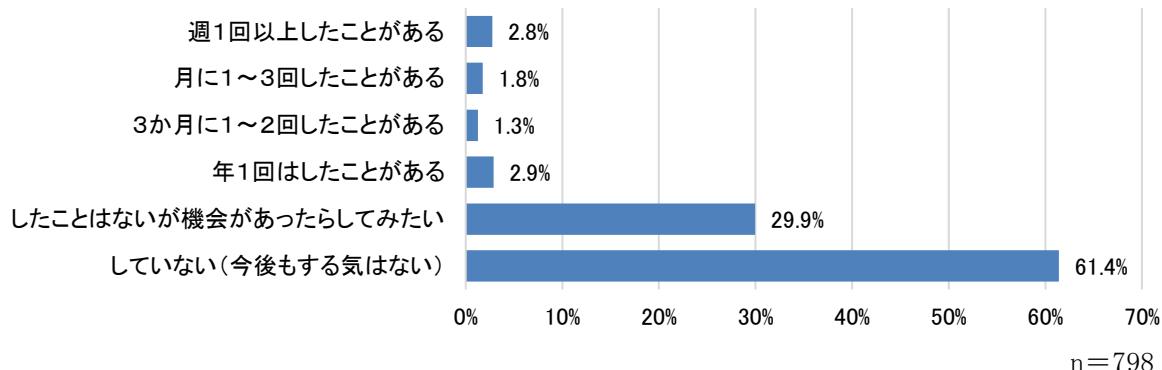


その他：施設周辺の渋滞緩和、物販の充実 など

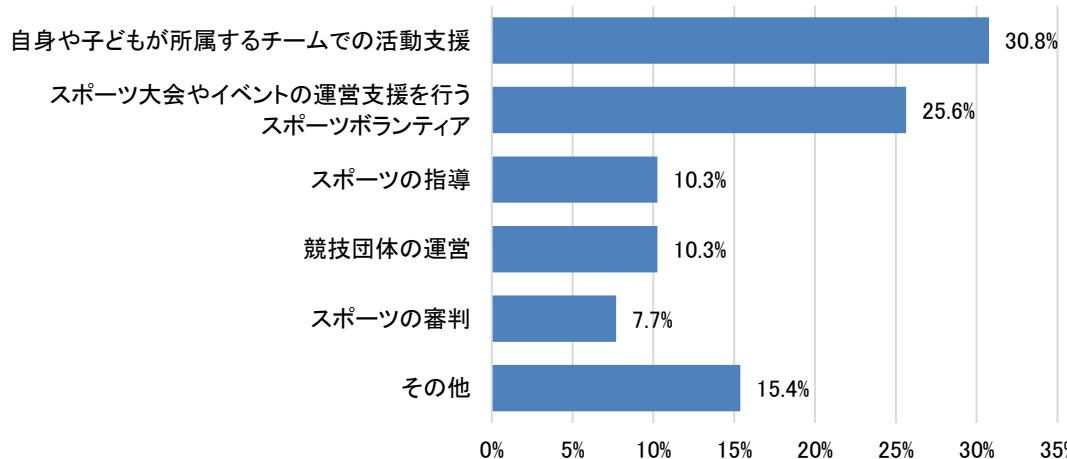
n=1,743

■スポーツを「ささえる」について

問11 この1年間において、スポーツを「ささえる」活動をしましたか（○は1つ）



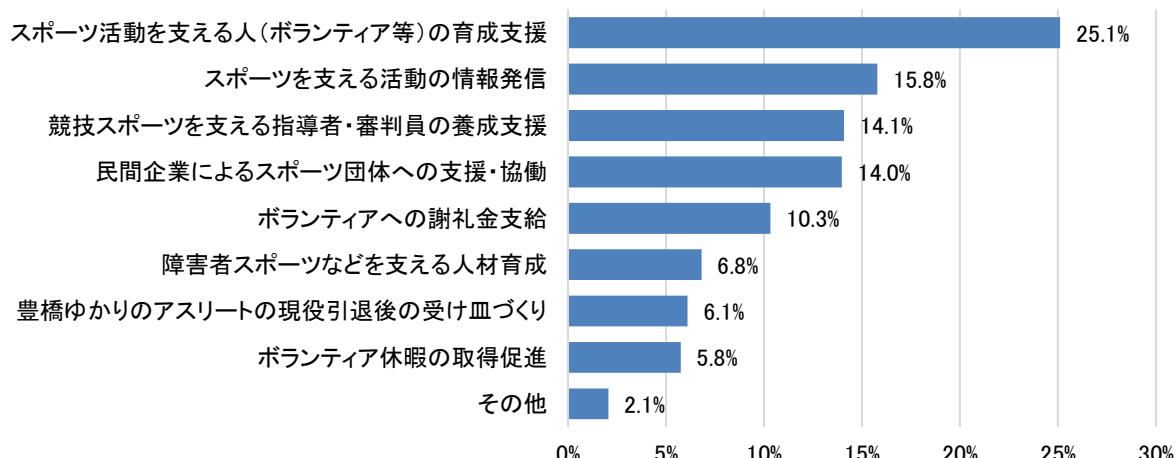
問12（問11で「1～4 「ささえる」活動をしたことがある」と回答した方にお聞きします）
あなたがしたことのあるスポーツを「ささえる」活動は何ですか（○はいくつでも）



その他：校区等の体育委員活動、各種大会等の運営補助 など

n=39

問13 今後、スポーツを「ささえる」活動に必要なことは何だと思いますか（○は3つまで）

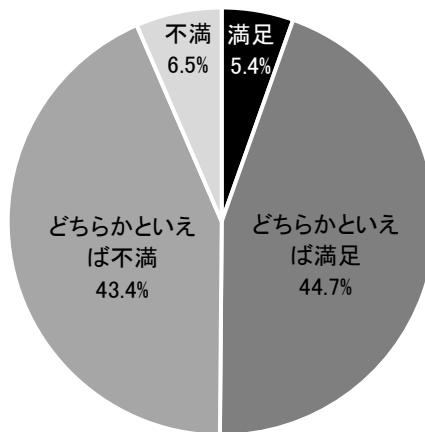


その他：記載なし

n=1,704

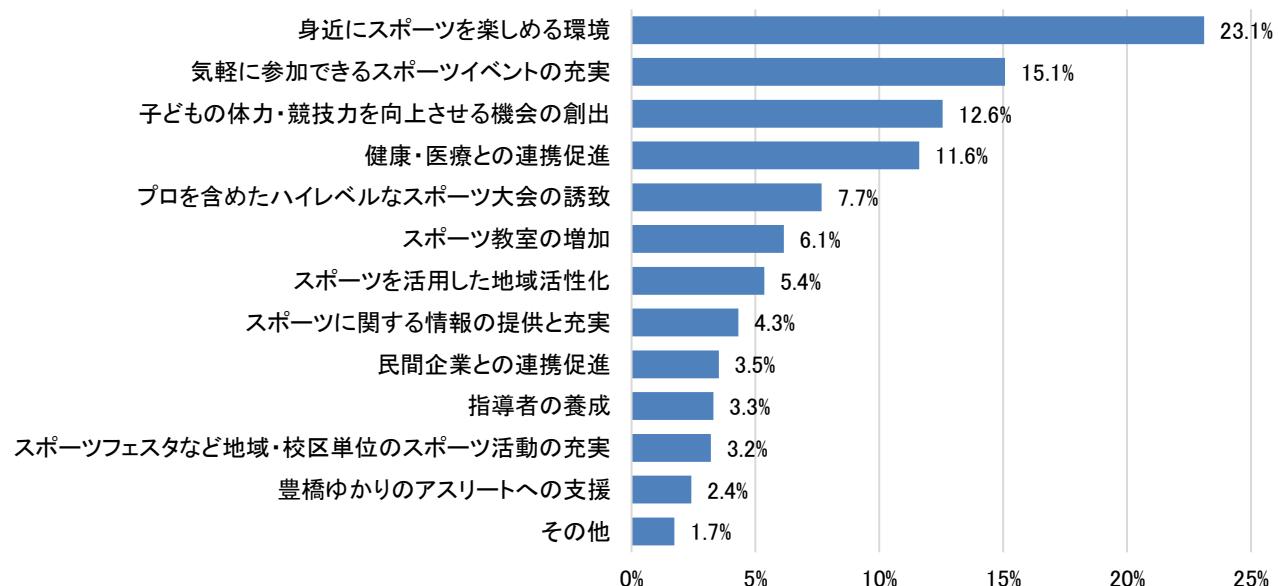
■スポーツ環境について

問14 豊橋市のスポーツ環境に満足していますか（○は1つ）



n=738

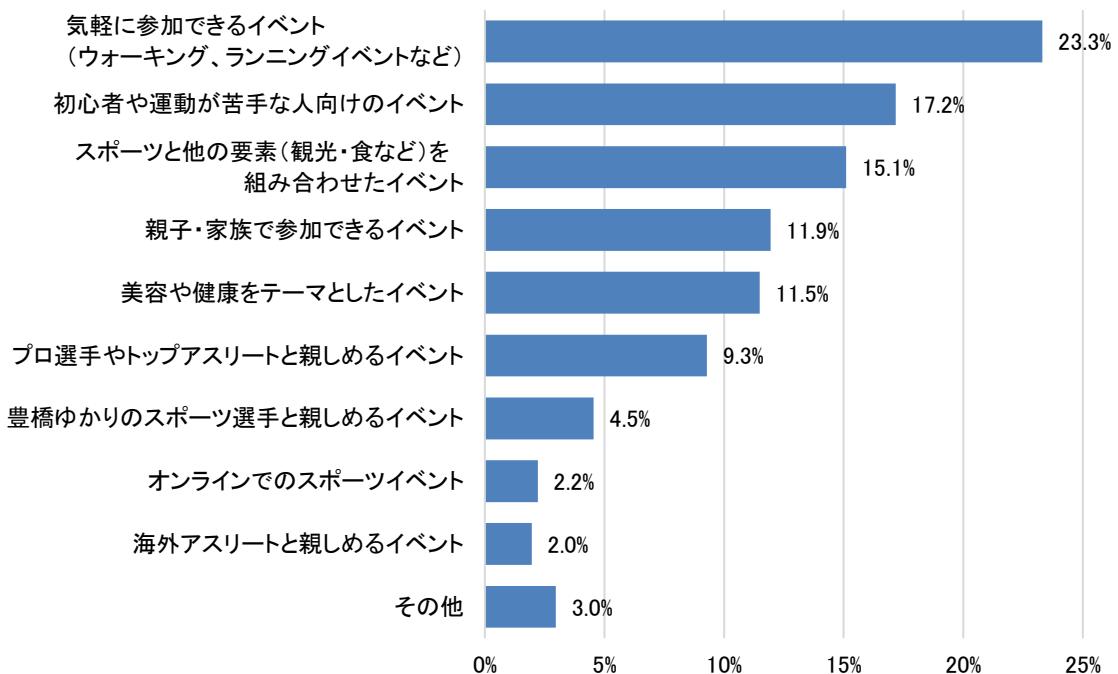
問15 今後、豊橋市のスポーツ環境に何を求めますか（○は3つまで）



その他：気軽に参加できること、ペット同伴可能な施設 など

n=1,904

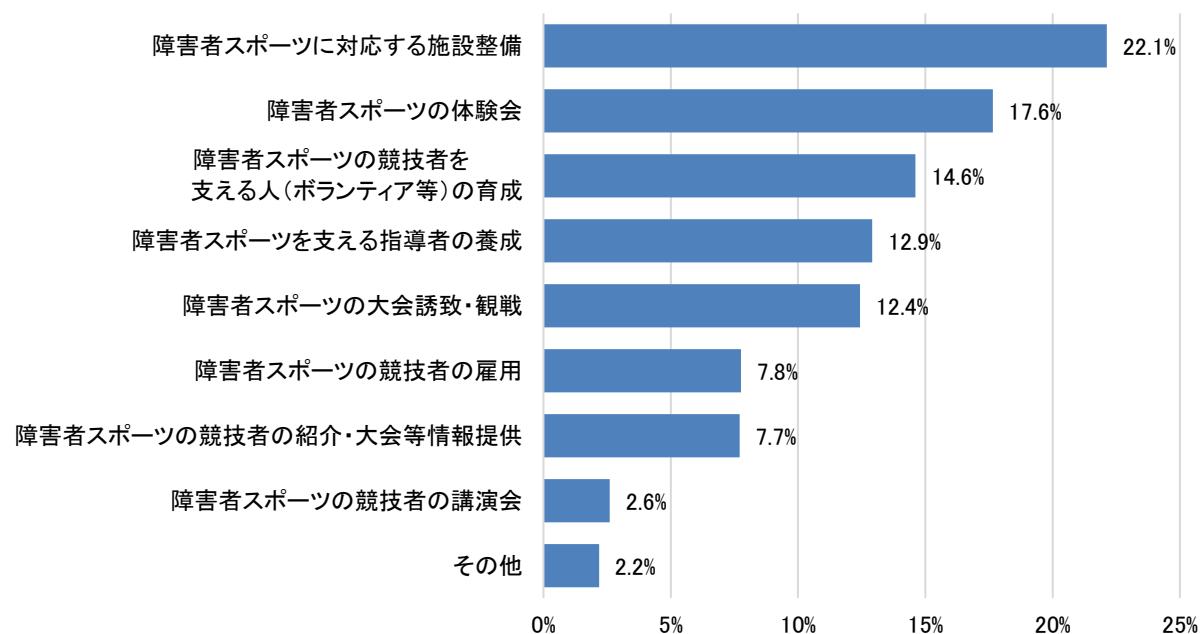
問16 これからどのようなスポーツイベントであれば参加してみたいと思いますか
(○は3つまで)



その他：国際的な大会、託児のあるイベント、ダンスやよさこいの体験イベント など

n=1,583

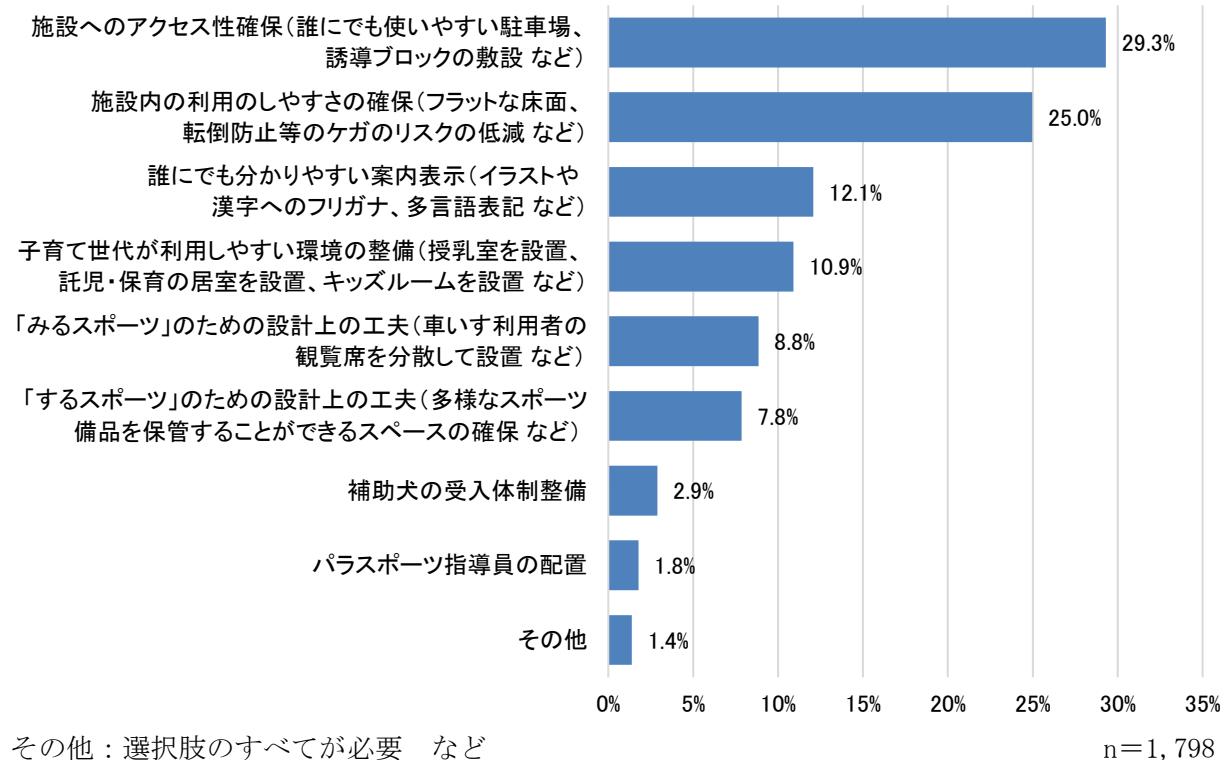
問17 今後、共生社会の実現のために障害者スポーツへの理解促進に向けた取組みが必要と考えています。その手法として有効と思われるものを選んでください。(○は3つまで)



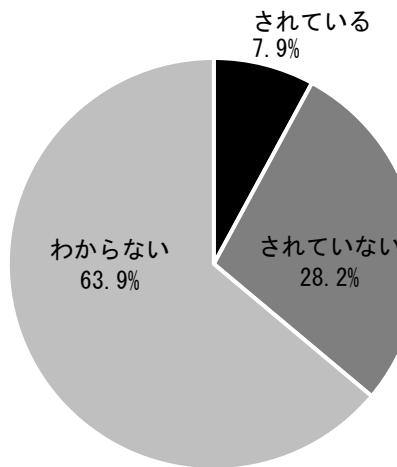
その他：バリアフリー化の推進、誰もが一緒に楽しめるイベントの開催 など

n=1,649

問 18 スポーツ施設において、ユニバーサルデザインに取組む必要があるものは何だと思いますか
(○は3つまで)



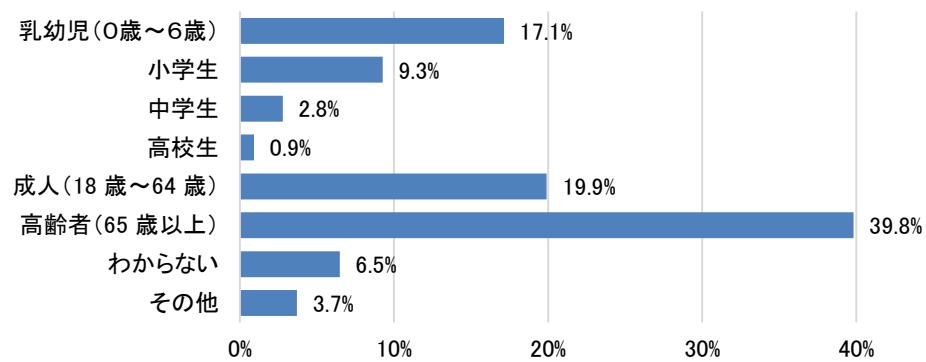
問 19 乳幼児から高齢者の世代に応じて、スポーツに親しむ機会が確保されていると思いますか
(○は1つ)



n=784

問 19-1 (問 19 で「2 されていない」と回答した方にお聞きします)

どの世代が確保されていないと感じますか (○は 1 つ)

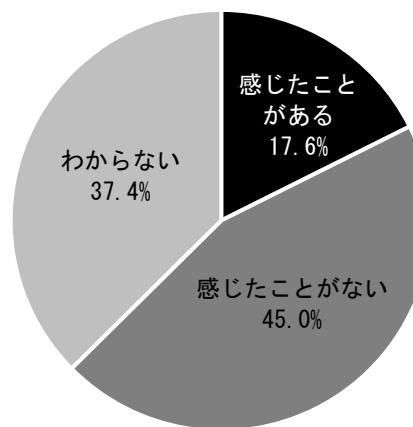


その他：すべての世代で確保されてない など

n=216

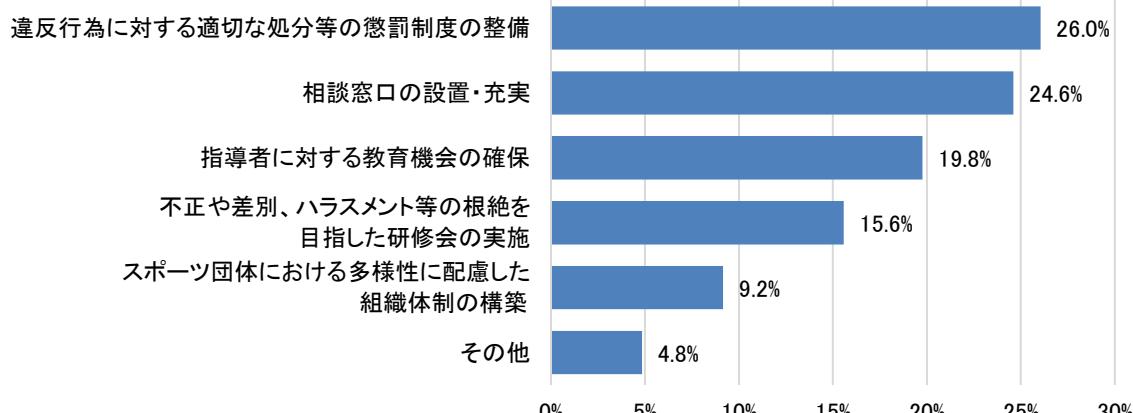
問 20 スポーツに関わる者に対する暴力や各種ハラスメントを身近に感じたことがありますか

(○は 1 つ)



n=794

問 20-1 暴力や各種ハラスメントを未然に防ぐためには何が必要だと考えますか (○は 1 つ)



その他：何をすればいいかわからない、各種ハラスメントがわからない など

n=764

●関係事業者・団体等へのヒアリング

今後の「スポーツのまち」づくりの参考とするため、関係事業者や各種団体へ、活動の状況や利用者のニーズの変化、運営上の課題などについてヒアリングを行いました。

■ヒアリング概要

- ・調査期間 2025（令和7）年8月4日（月）から8月14日（木）まで
- ・調査対象 (公財) 豊橋市スポーツ協会
関係事業者（市内スポーツ施設指定管理者：3事業者）
総合型地域スポーツクラブ（6クラブ）
障害者団体
- ・項目 利用者ニーズと変化、現状の課題、交流や連携、
今後のスポーツ推進に向けた取り組み など

■ヒアリング結果（主な意見）

○（公財）豊橋市スポーツ協会

- ・子どもたちが、さまざまなスポーツに触れることのできるイベントを企画する必要がある。
- ・アーバンスポーツやeスポーツなど、スポーツが多様化している。
- ・活力のある地域社会を実現するため、新たな取り組みとして「岩田運動公園夜店 2025」を開催した。夜店の出店とともに、豊橋市民球場の開放やミニテニス体験会などを開催し、スポーツ施設のPRやスポーツに触れる機会を創出し、多くの地域の方に参加してもらえた。

○関係事業者

- ・近年の気候変動に伴い、快適な運動環境の確保や熱中症予防、パフォーマンス向上のために体育館等の施設へ空調の導入が不可欠であると考えられる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観戦方法の多様化などから場所を問わず実施できるデジタルコンテンツのニーズへの対応が求められている。
- ・施設の更衣室等で、障害者や性的マイノリティ等への配慮が必要になるとを考えている。
- ・市と連携し、にぎわいの場を創出するイベントを開催することで、地域活性化に貢献している。
- ・今後も多様なニーズに応えるよう、新たな視点で取り組みを推進していく必要がある。

○総合型地域スポーツクラブ

- ・利用者の年齢層は、小学生～80歳代と幅広く利用されており、団体数は増加傾向にある。また、利用者の年齢層は子ども世代より、成人の利用者が増加している傾向にある。
- ・クラブの運営について、事務局の後継者や指導者の担い手が不足しており、将来的な運営について危惧している。

- ・中学校部活動の地域展開が推進されている中で、クラブとして受け入れる体制は整っている。
- ・地域貢献活動の一環で、クラブ会員以外でも参加ができるイベントとして、レクリエーションスポーツの体験などを実施している。

○障害者団体

- ・障害者スポーツの普及、振興、そして競技の円滑な運営を実施するために、障害者スポーツに対して理解し、協力してくれる人材を増やしていきたい。
- ・競技スポーツ、余暇支援スポーツ、リハビリ、健康増進、フレイル予防等、スポーツに対する多様な取り組みが求められている。
- ・車いす用トイレの不足や多様性、異性介助に対応した更衣室などが不足していると感じている。
- ・初めて訪れる施設の場合、スロープや車いす用トイレの有無などがわからず行くことを躊躇してしまう方が多いため、設備に関する情報の発信や介助者の充実、運営方法の工夫が必要である。

●豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会設置要綱

(設置)

第1条 本市「スポーツのまち」づくりの将来ビジョンの実現に向け、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画を総合的かつ効果的に推進するため、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進市民委員会（以下「市民委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 市民委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画の推進に関すること。
- (2) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画に関する評価・検証に関すること。
- (3) その他、スポーツの推進に関すること。

(委員の構成)

第3条 市民委員会は別表1に掲げる委員により組織する。

2 委員は市長が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年以内とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第5条 市民委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により定め、副委員長は、委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 市民委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員長は、委員会の議長となる。

3 委員長が不在の場合には、副委員長がその職務を代理する。

4 委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 市民委員会の庶務は、文化・スポーツ部スポーツ課において行う。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年7月1日から施行する。

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

この要綱は、令和4年7月1日から施行する。

この要綱は、令和5年7月1日から施行する。

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

この要綱は、令和7年7月1日から施行する。

別表1（第3条関係）

区分	所属団体・役職	委員氏名
学識・医療	豊橋創造大学大学院 健康科学研究科 教授	後藤 勝正
	豊橋まちなかウィメンズヘルスクリニック 産婦人科医スポーツドクター	宮本 由記
地域・イベント	総合型地域スポーツクラブ SKITS	鈴木 三和子
	豊橋市スポーツ推進委員協議会 会長	廣永 岩男
	NPO法人アンドエス 理事長	菅沼 卓徒
競技	(公財) 豊橋市スポーツ協会 常務理事	大林 利光
	元アスリート	増田 智実
	中小学校体育連盟事務局	中島 大輔
	豊橋市老人クラブ連合会 保健体育部 部長	森 義和
	豊橋障害者（児）団体連合協議会 会長	山下 徹
スポーツ施設管理	ハマダスポーツ企画株式会社	増田 典子

●豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画 後期アクションプラン策定の経過

年 月 日	事 項	内 容
2025（令和7）年 5月 28日	第1回市民委員会の開催	後期アクションプラン策定の概要、スケジュール（案）、「スポーツ」に関する市民意識アンケート、関係事業者・団体ヒアリングについて
2025（令和7）年 8月 4日～8月 14日	関係事業者・団体ヒアリングの実施	（公財）豊橋市スポーツ協会、市内スポーツ施設指定管理者、総合型地域スポーツクラブ、障害者団体を対象にヒアリングを実施
2025（令和7）年 8月 6日	第2回市民委員会の開催	「スポーツ」に関する市民意識アンケート（案）について、今後のスケジュール
2025（令和7）年 8月 21日～9月 12日	「スポーツ」に関する市民意識アンケートの実施	無作為抽出した市内の16歳以上、2,000人を対象にアンケートを実施
2025（令和7）年 11月 5日	第3回市民委員会の開催	後期アクションプランの策定について
2025（令和7）年 11月 26日	教育委員会定例会への意見聴取	後期アクションプラン（素案）について
2026（令和8）年 1月 21日	総務委員会	後期アクションプラン（素案）について
2026（令和8）年 2月上旬～3月上旬	パブリックコメント	後期アクションプラン（素案）についての意見募集